

An anime-style illustration of two characters in a night setting. A woman with long, flowing red hair and yellow eyes is shown in profile, looking towards the right. She has a dark, strapless top and a necklace. A man with short blonde hair is shown from the back, wearing a blue shirt with white polka dots. The background is a dark purple night sky with a crescent moon, stars, and some foliage at the bottom. The title '楽園の悪夢' is written vertically on the left side.

楽園の悪夢

R-18
for adult only

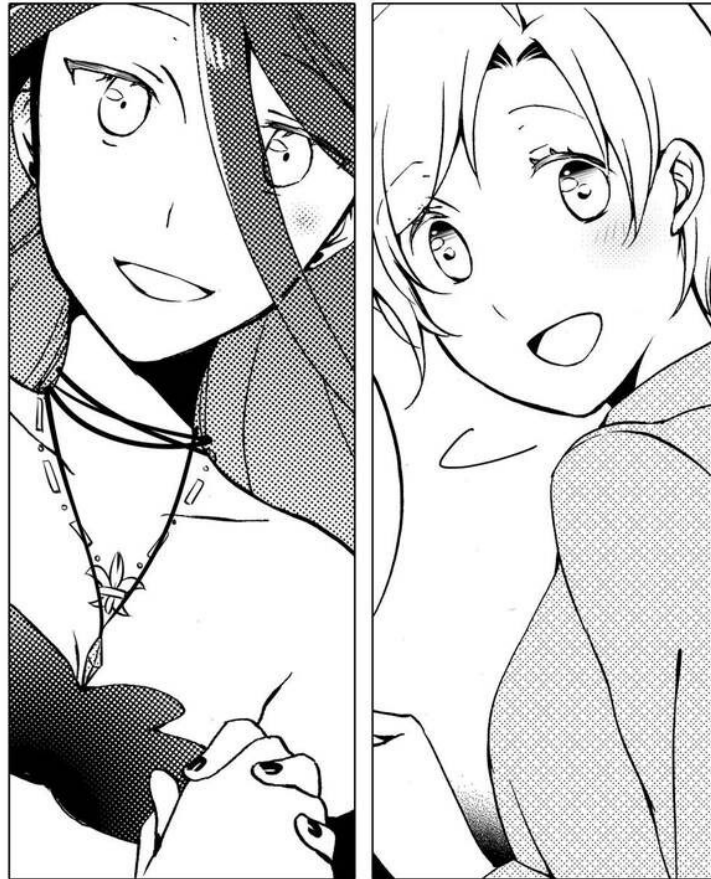
この本は、
サキュバス×少女のファンタジー百合オリジナル本です。
「悪夢の楽園」の続きになりますので
お持ちの方は前作をお先に読むことを推奨いたします。

女性同士の絡み・成人向け描写
などを含みますので

18歳未満(高校生不可)の方、

上記内容に苦手なものがある方はご遠慮ください。

全てご了承いただけましたら本文へどうぞ。



サキュバス

通称『さくちちゃん』
アンナの夢の住み着く。

少女

通称『アンナ』
この物語の主人公。

あ
ら
す
じ

少女は夢に突如現れたサキュバスに魂を食われてしまう。
夢で魂を食われると本体も死んでしまうはずなのに
何故か生きている少女。
理由は不明だが少女の魂の味が気に入ったサキュバスは
少女の夢に居着くことに…。

サキュバスに何気なく聞かれた
自分の名前や自分の事を思い出せない事に
不安を感じる少女。
思い出せないまま日々は続く。

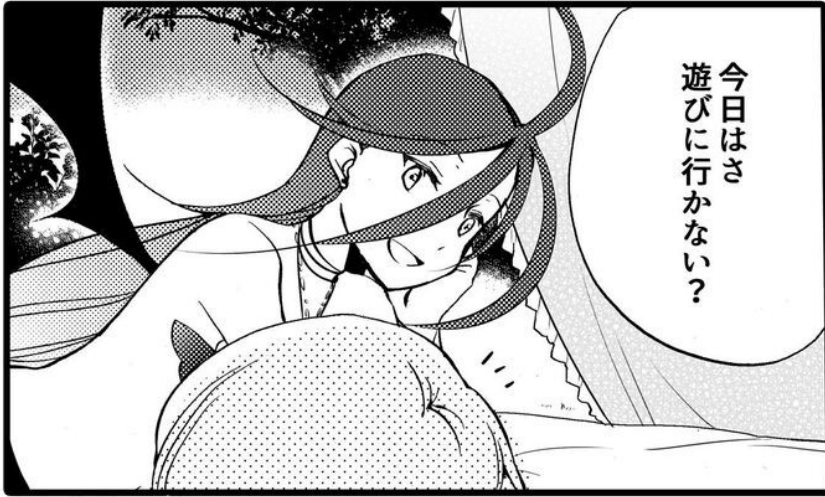
その後少女と時間を重ねたことで
サキュバスは少女に情がわいてくる。

ある日『アンナ』と名乗る女王がサキュバスの前に現れ
自分が今まで食べていた魂は女王の魔力だった事、
少女は女王の夢での姿だった事、
夢での護衛をさせるために
サキュバスを利用していた事を知る。

少女の事を気に入っているサキュバスは
『女王』と『アンナ』を別の人格として
分離することを提案する。

名前を思い出せない少女に夢の中だけでの名前だと言い
『アンナ』と名付け契約は成立した。

真実をアンナに伝えることはせず、
今までどおり夢の中で2人は幸せな時間を過ごすのであった。



今日はさ
遊びに行かない？

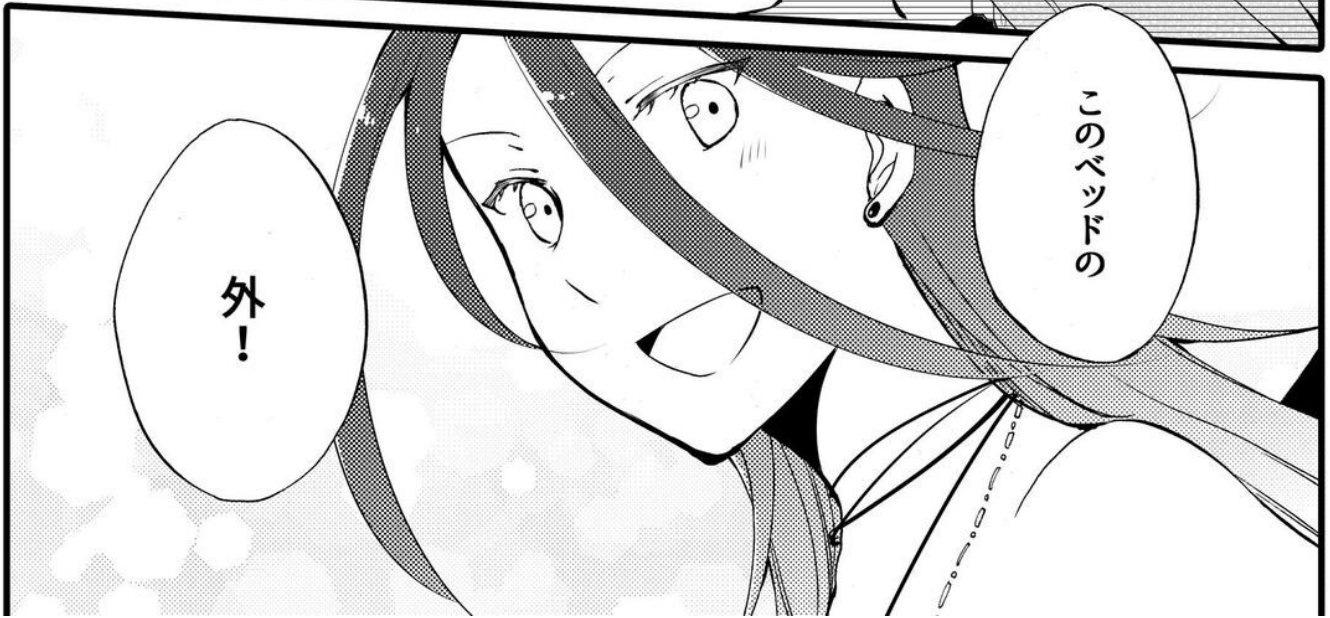


遊びに…って
どこへ？

ふふーん♪

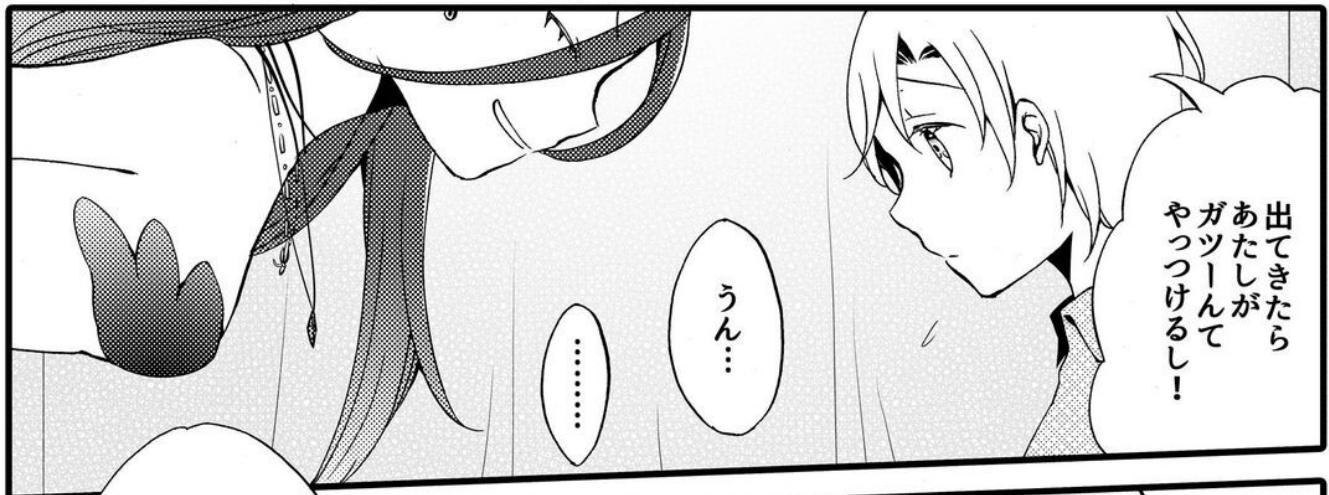


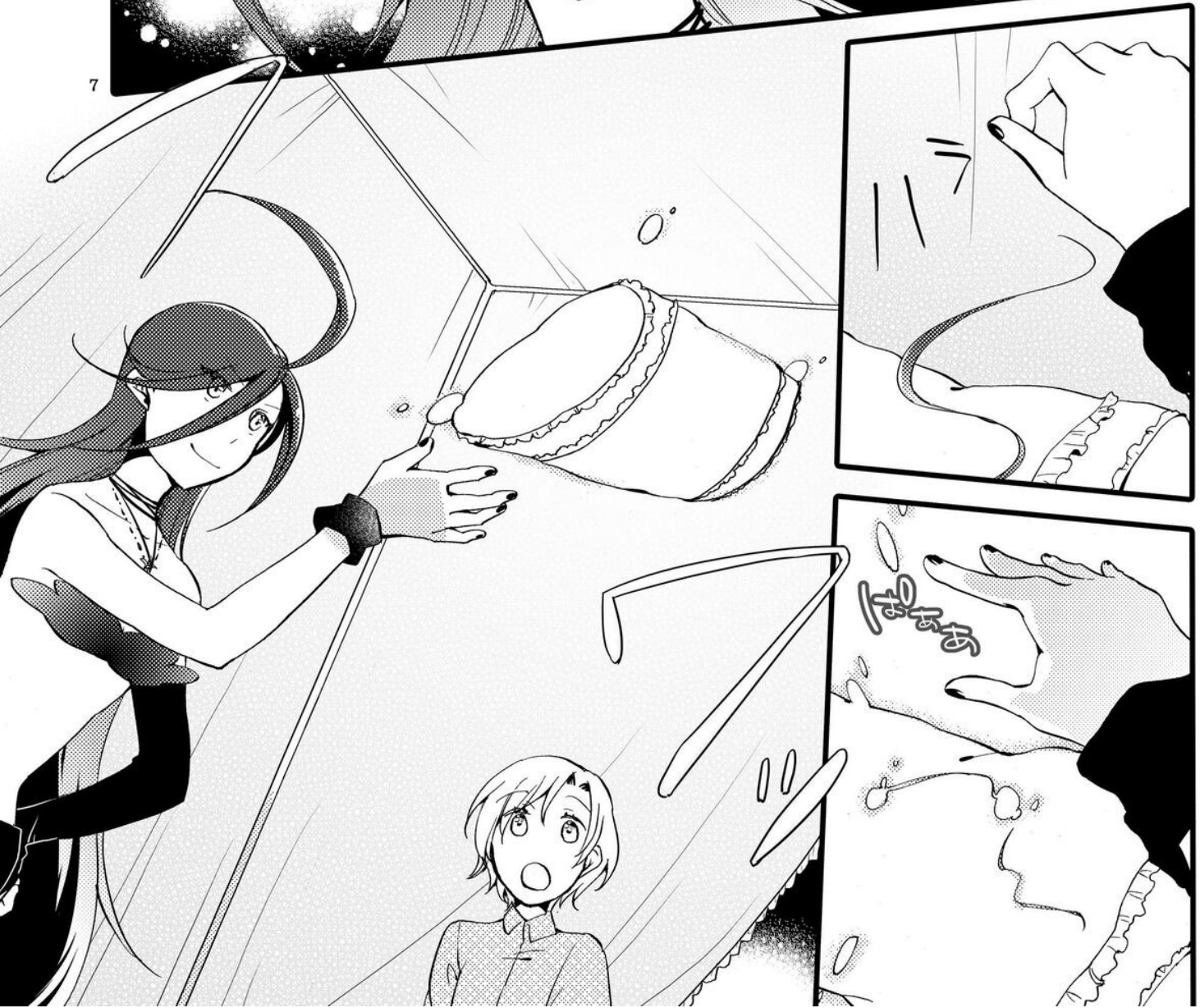
ねえ
アナナ、



このベッドの

外！







すごいね
さくちゃん！
いつの間に……！

へへーん
アンナが寝てる間に
練習したんだー♪



もつと高く
飛ぶにはあたしに
つかまってないと
だめだけど。

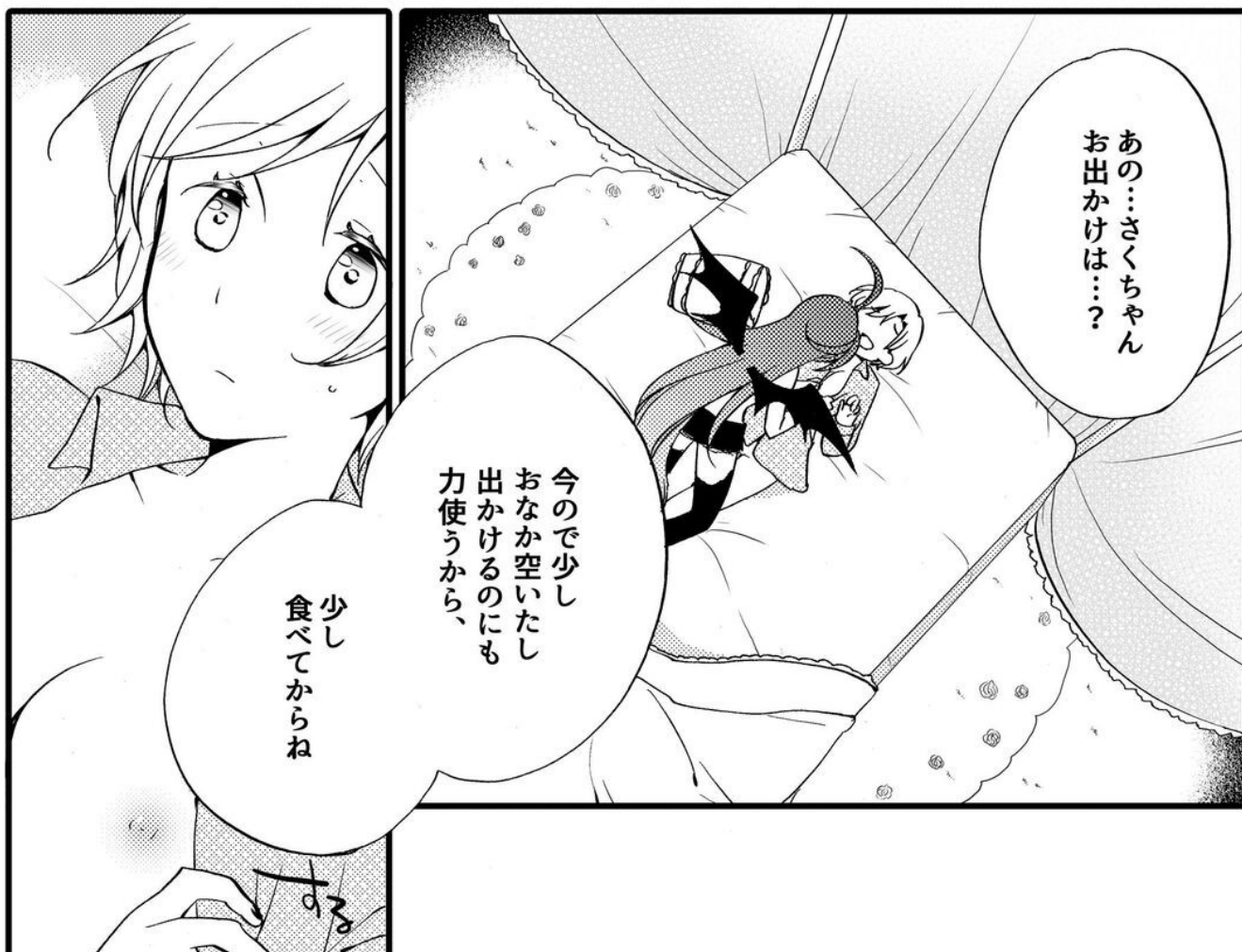
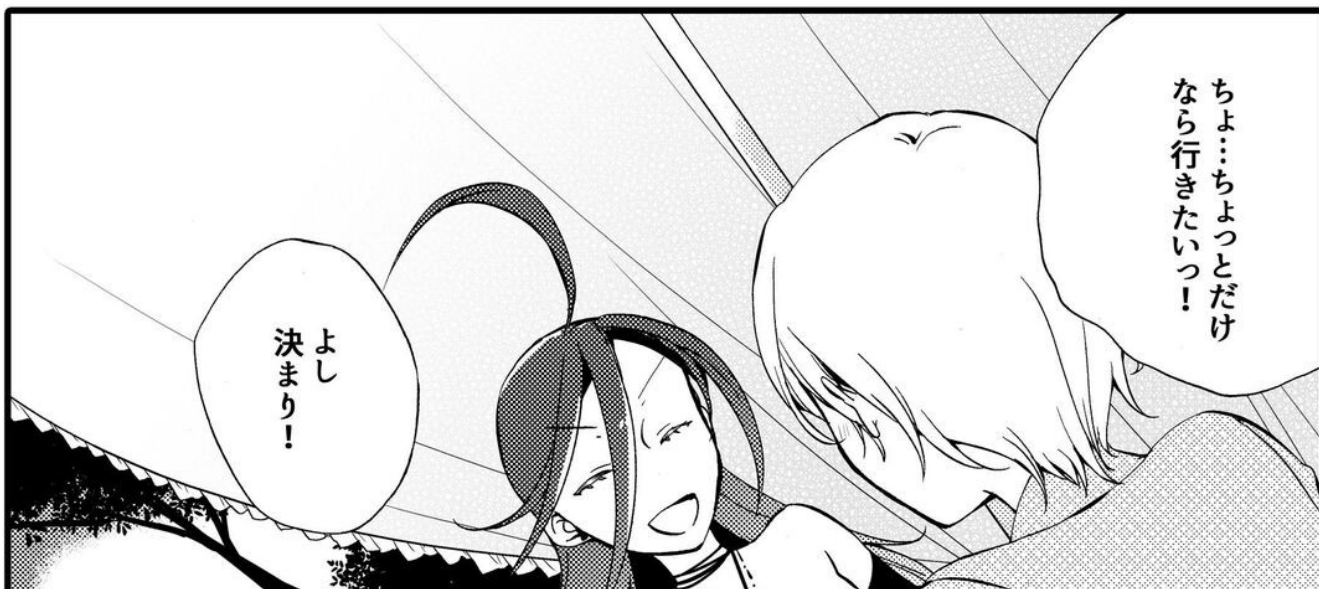


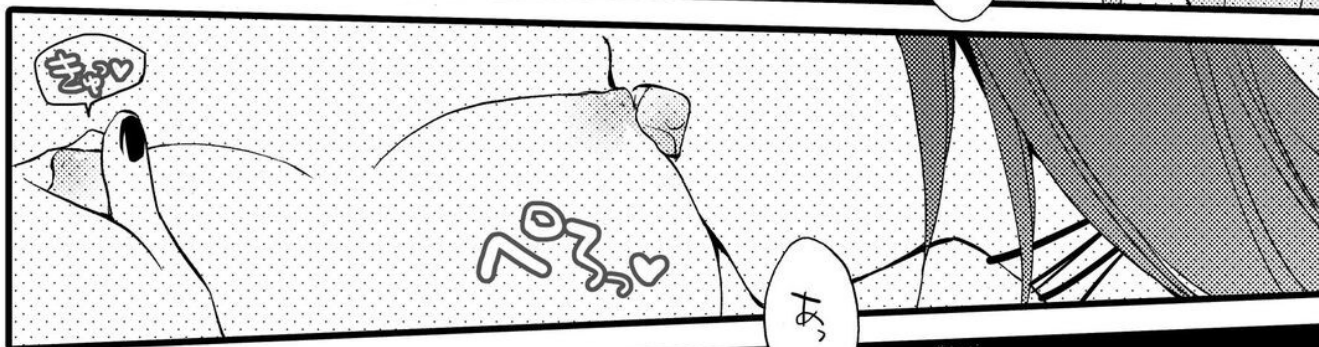
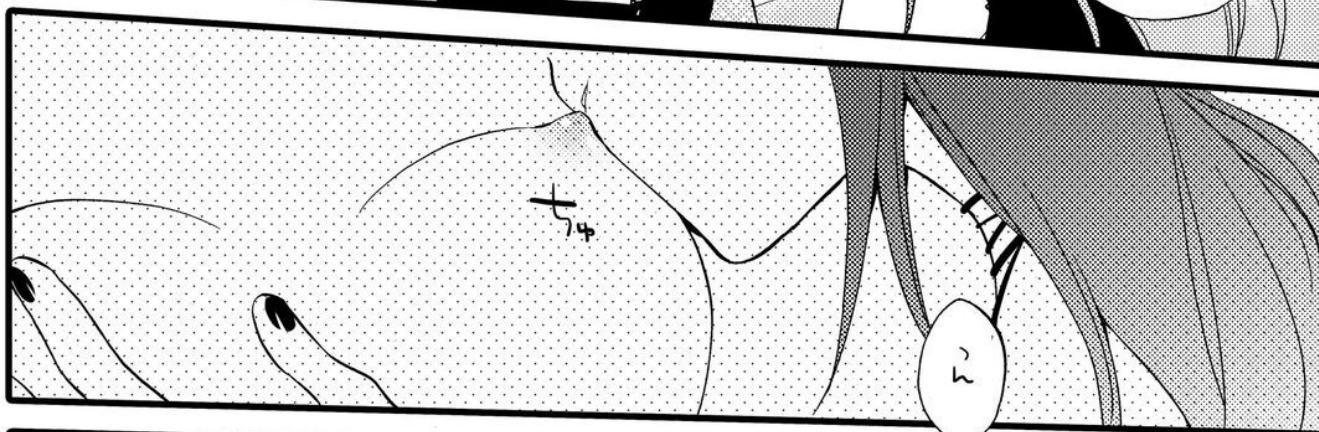
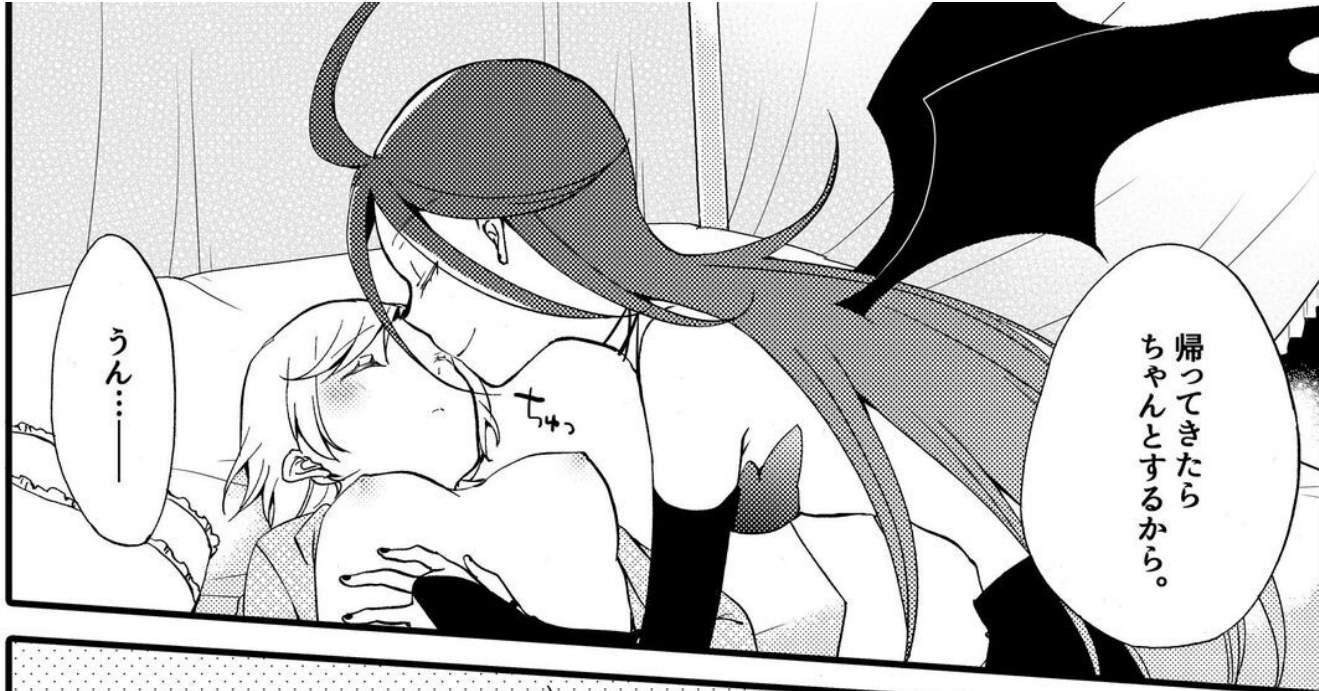
これでも
まだ行かない？



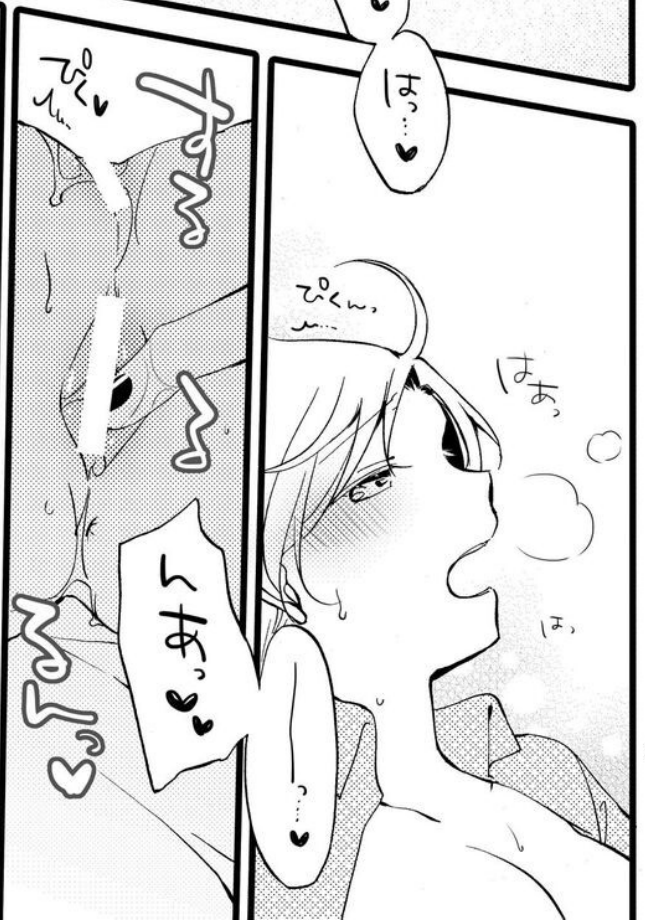
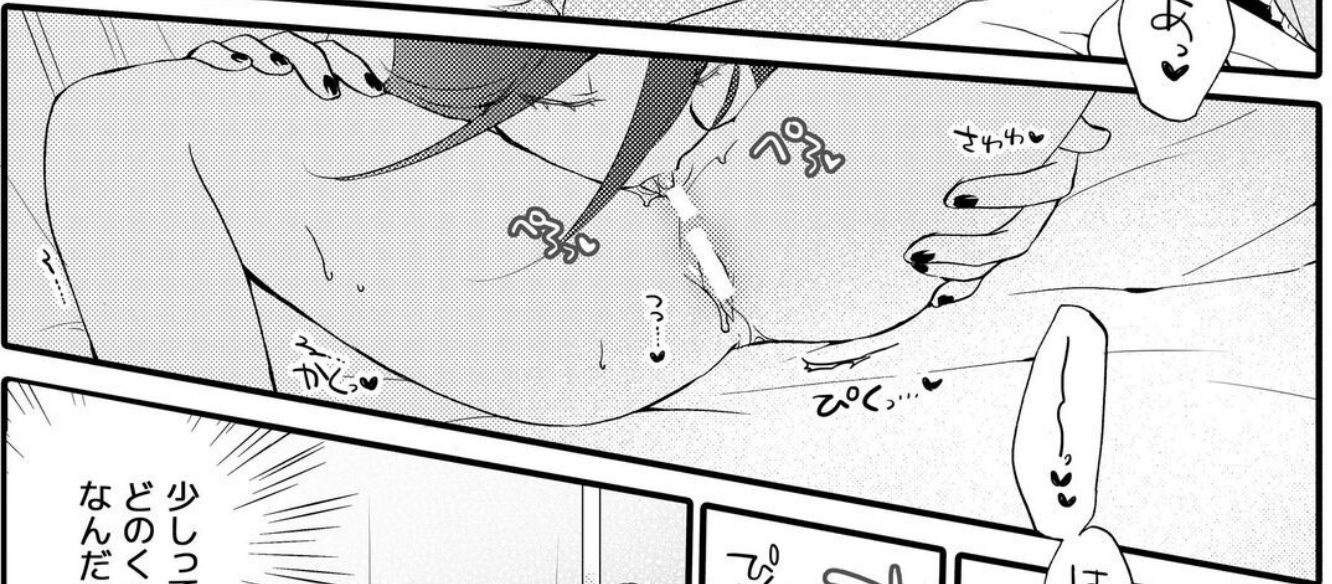
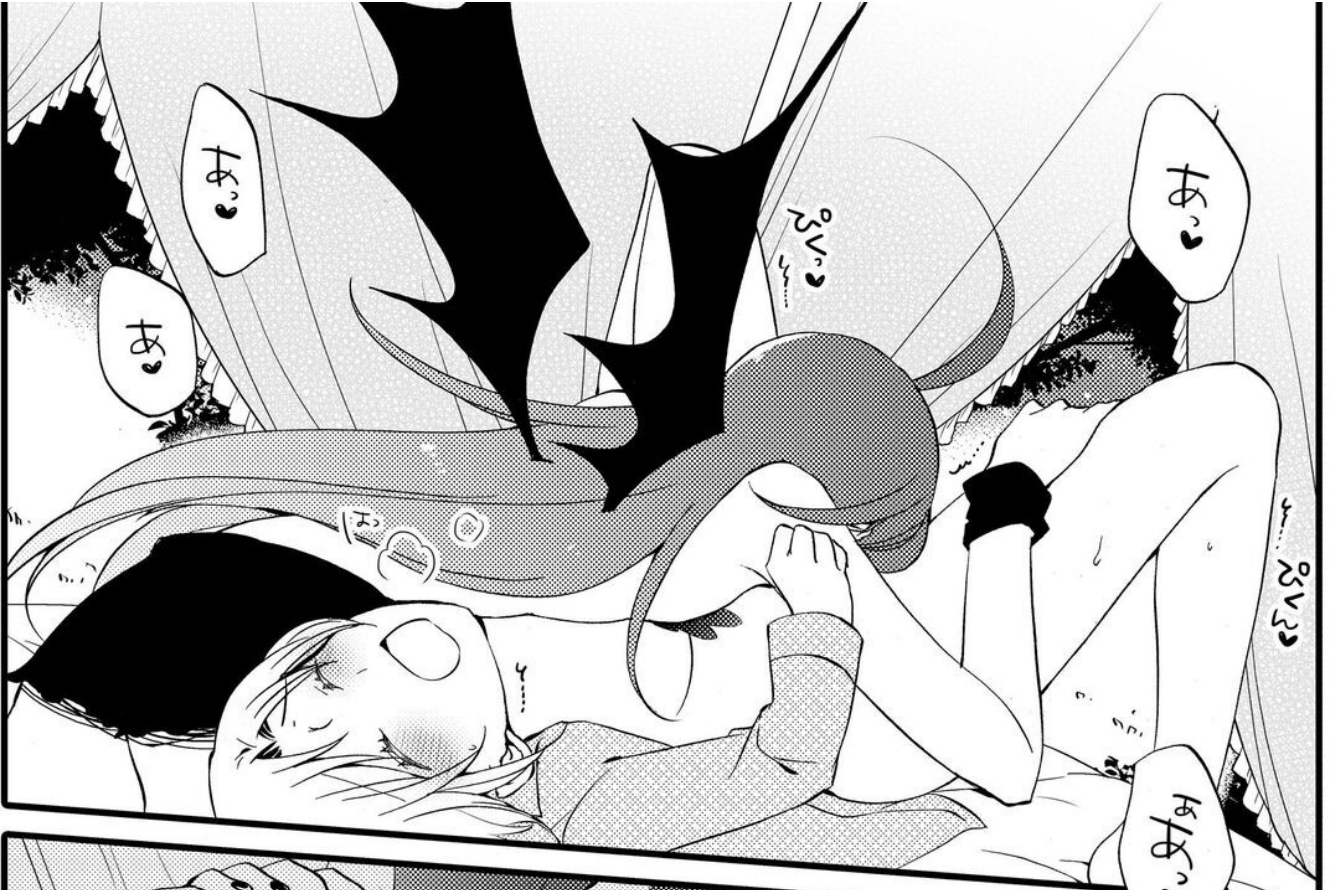
わ……！

ほんとに
浮いてる……！

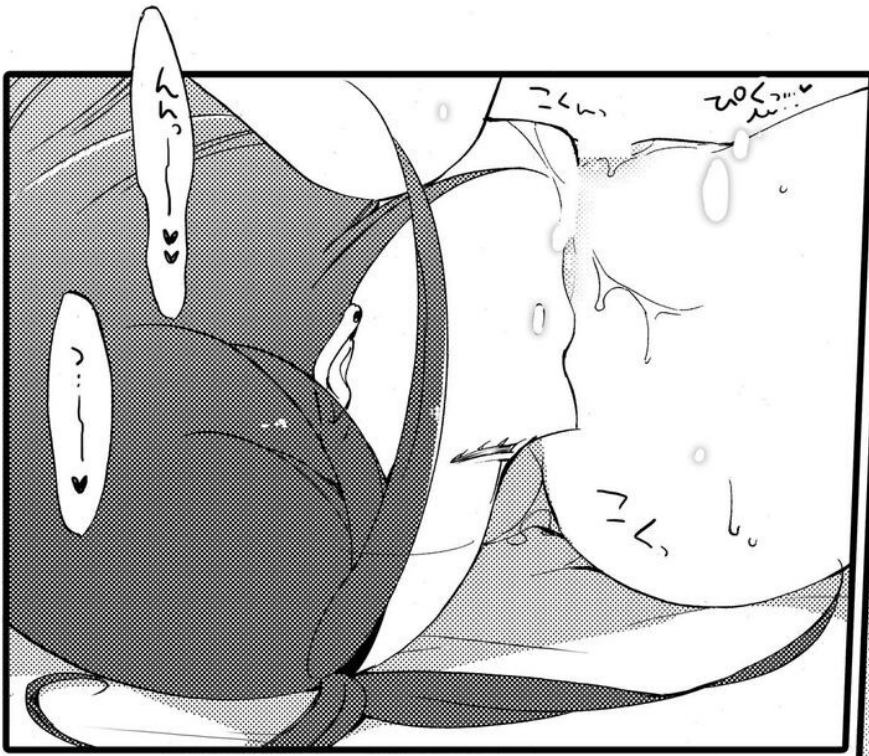


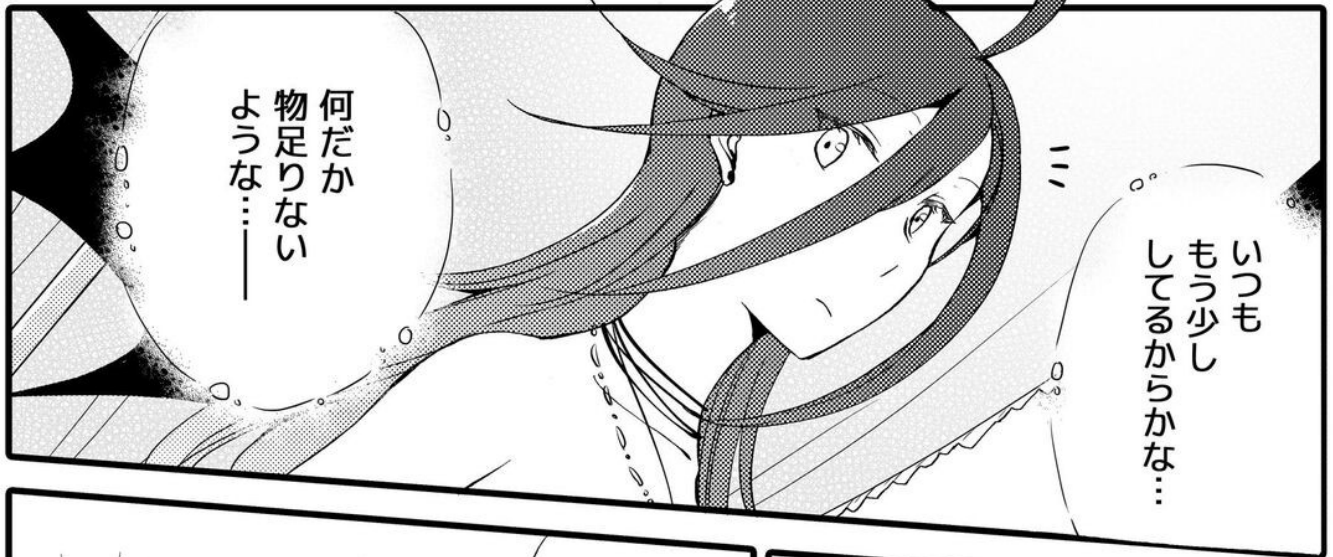












いつも
もう少し
してるからかな…

何だか
物足りない
ような…



しっ…
してないっ!

なんでバレ
ちゃったん
だろう

うそだー



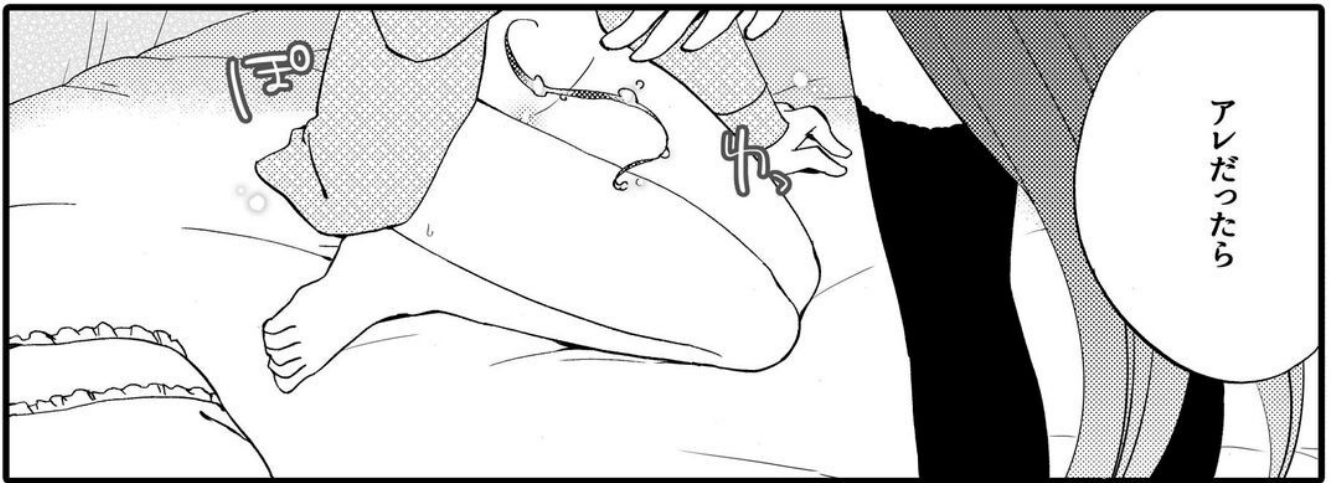
なーに
物足りなさそうな
顔してんのさ



顔見たら
わかるよ



えっ…
えっ…





ま、いっか、
んじゃ行くよ!

目閉じてて!

ええっ!?
そつ...それは
ちよつと...!

えー誰も見てないし
いーじゃーん

無理!
だめ!!



えつ...あ
わたしぱんつ
はいてな!

っ!!

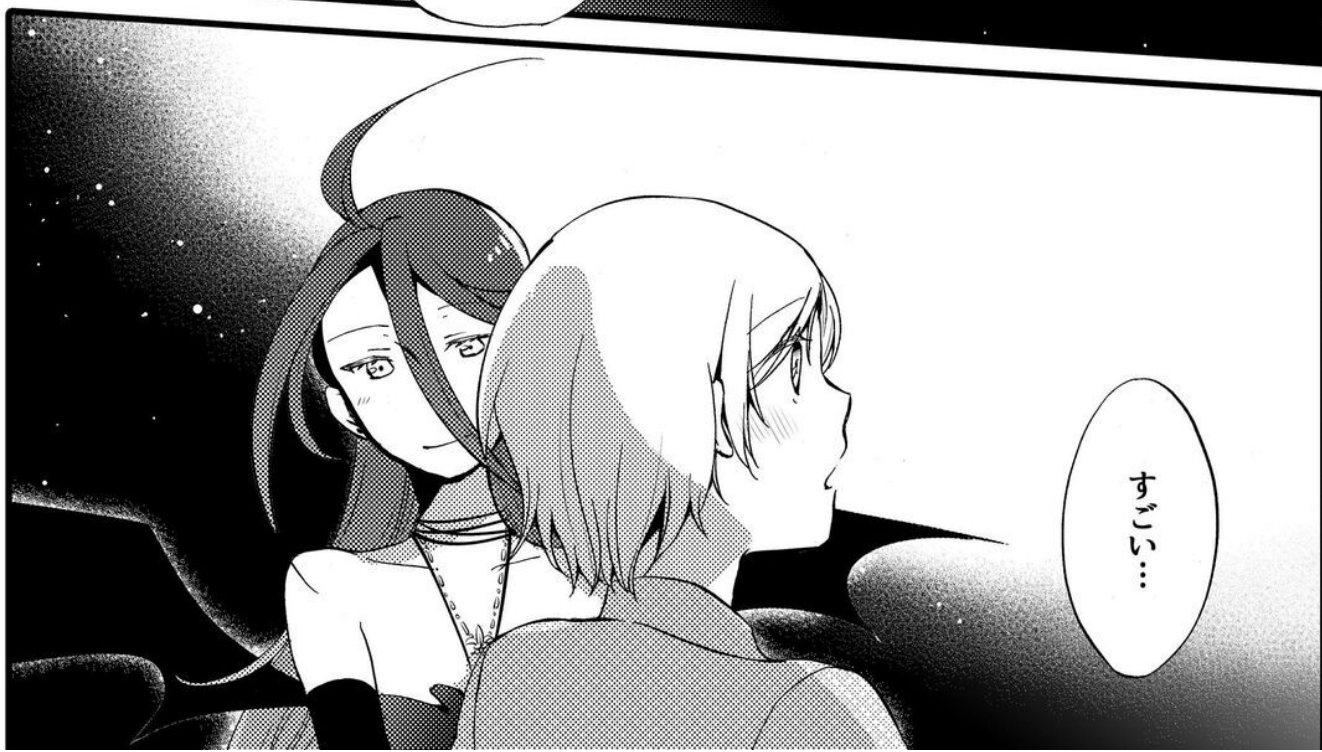
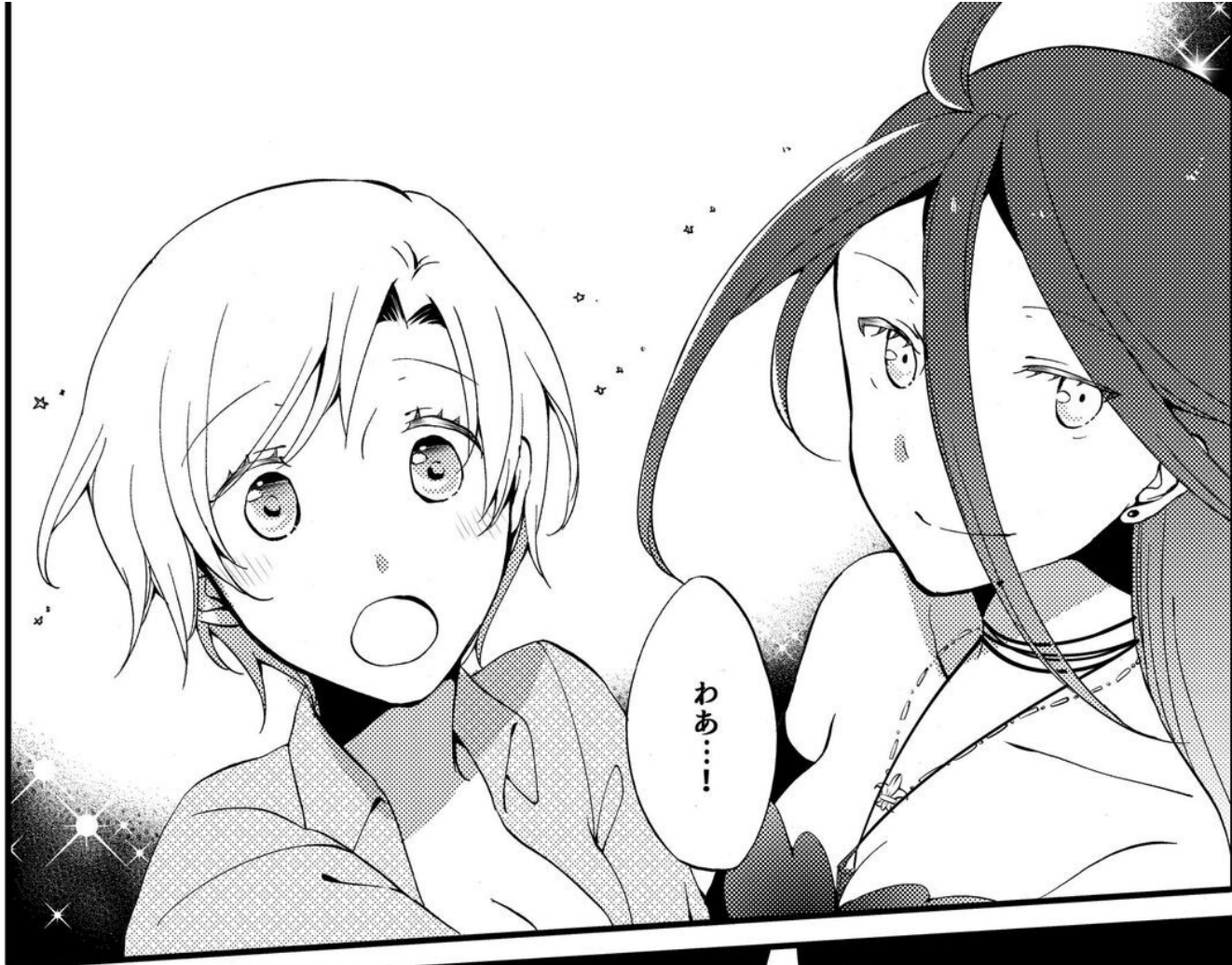
そのまま
きちやった…

…
ス…
ス…

ス…

もう
開けていいよ







いつか絶対
一緒に見ようって
思ってたんだ。



あたしは
アナナが
寝てる間に

見回りっことで
よくこの辺
飛んでさ、



さくちゃん……



さくちゃん



もしかしたら
『今日さくちちゃんと
飛べるから』



わたし、何度か
空を飛ぶ夢を
見たことがあって

その時は全然
うまく飛べなくて
がっかりして
ただけど：



その時まで
楽しみに
してなさい』

って事
だったのかも



そーかもね








さくちゃんの声が
遠くなる…



わたし…
死んじゃうの…?



…でもわがごとく
さくちゃんと
一緒に空を飛んで、

楽しかったな……

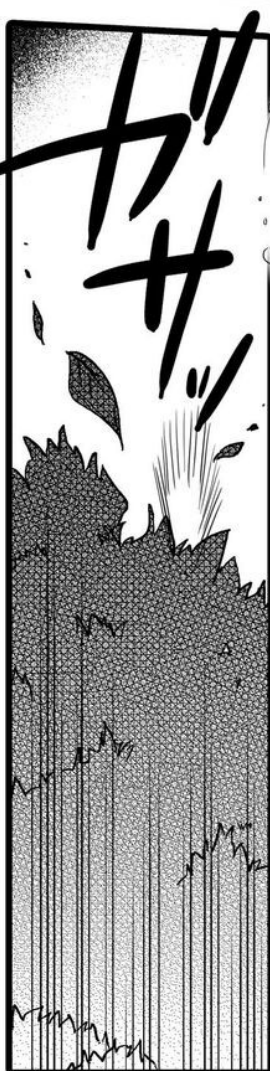
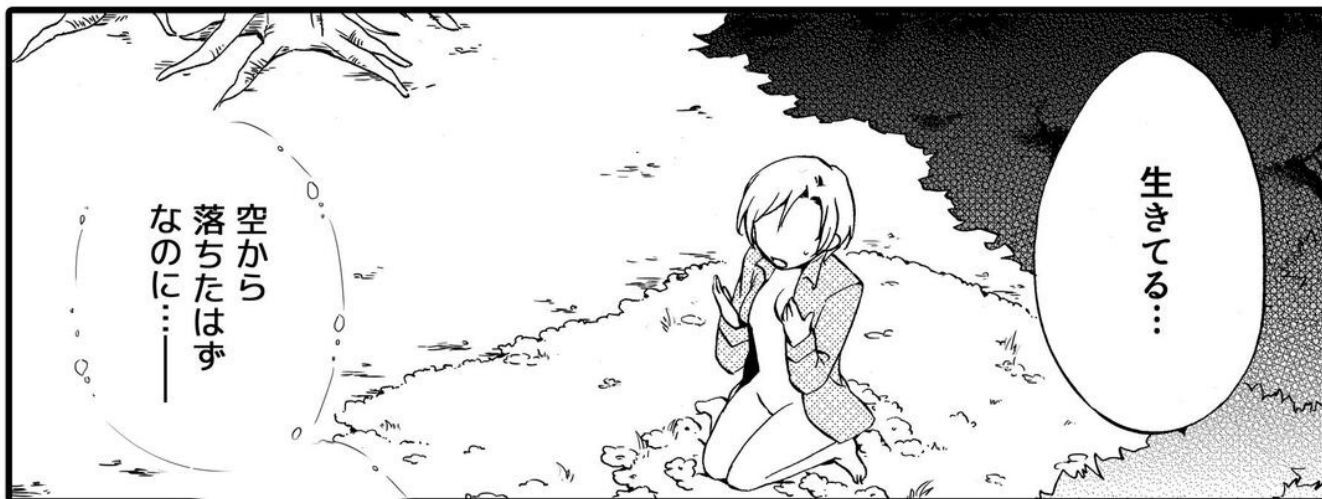


……

楽園の悪夢

楽園の悪夢



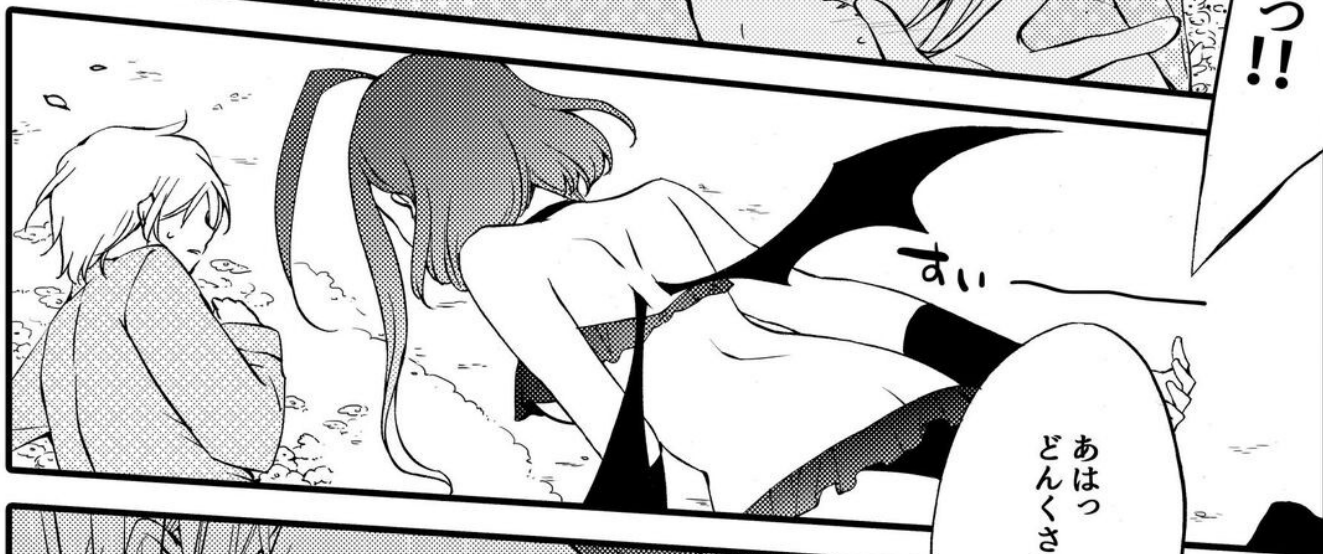
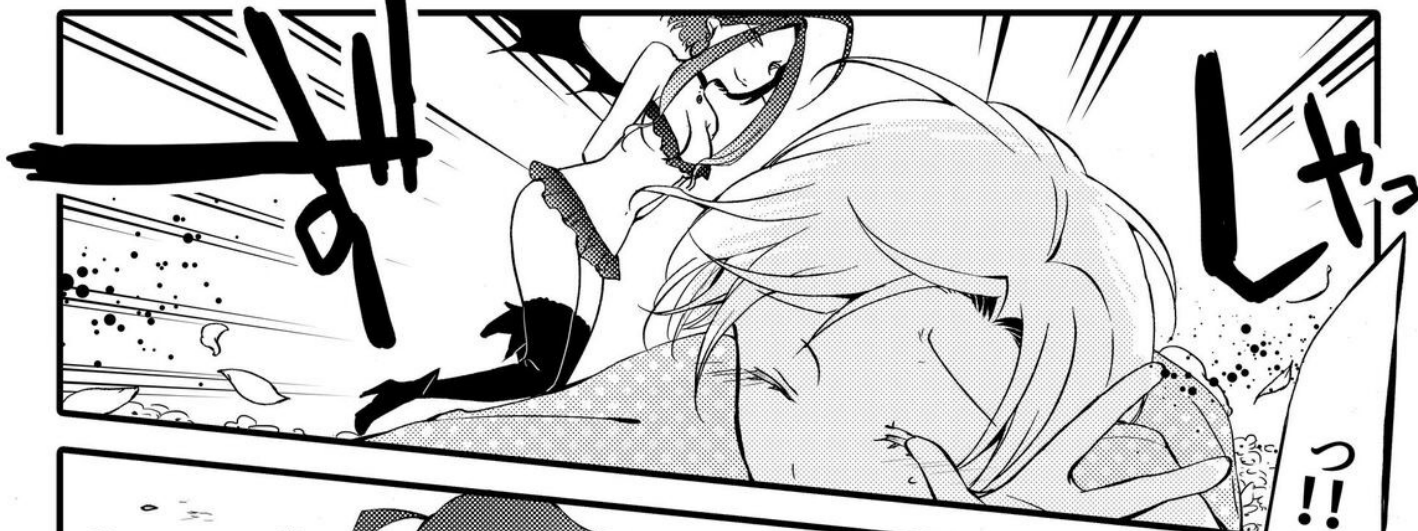


さくちゃんじゃ
ない……！

こんばんわあ

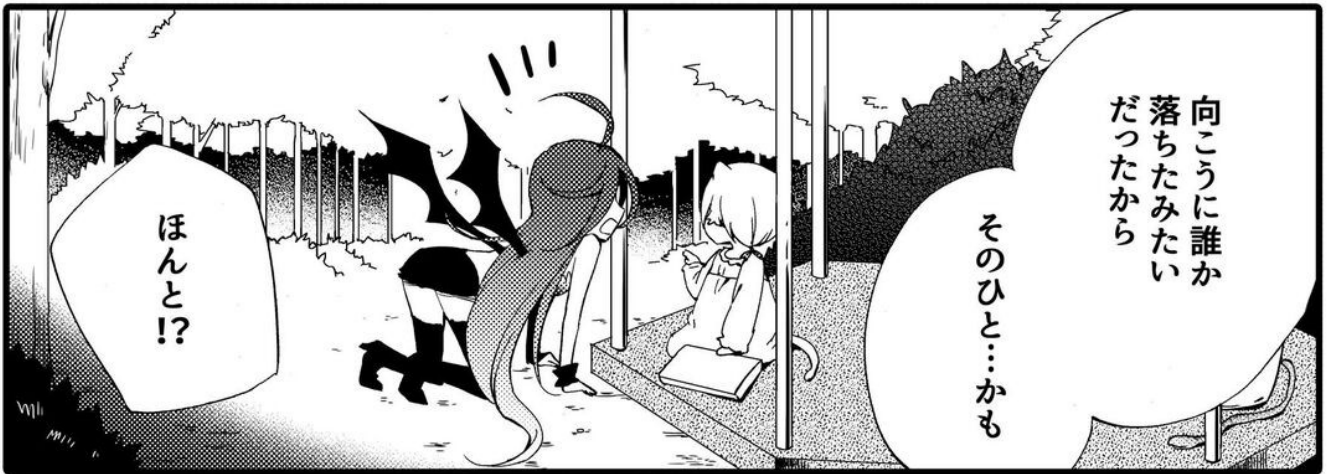
サキユバスさん
みたいだけど…

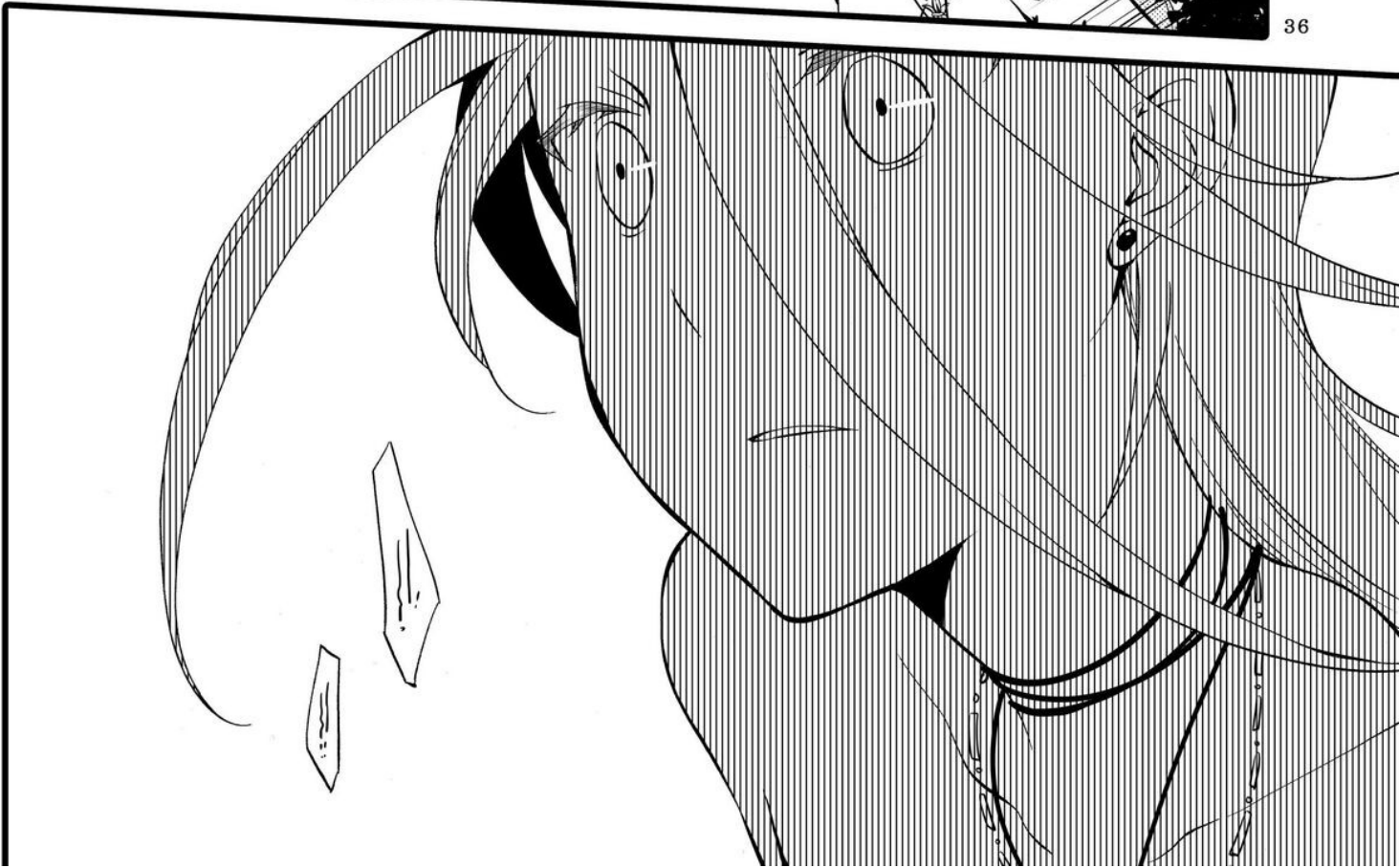
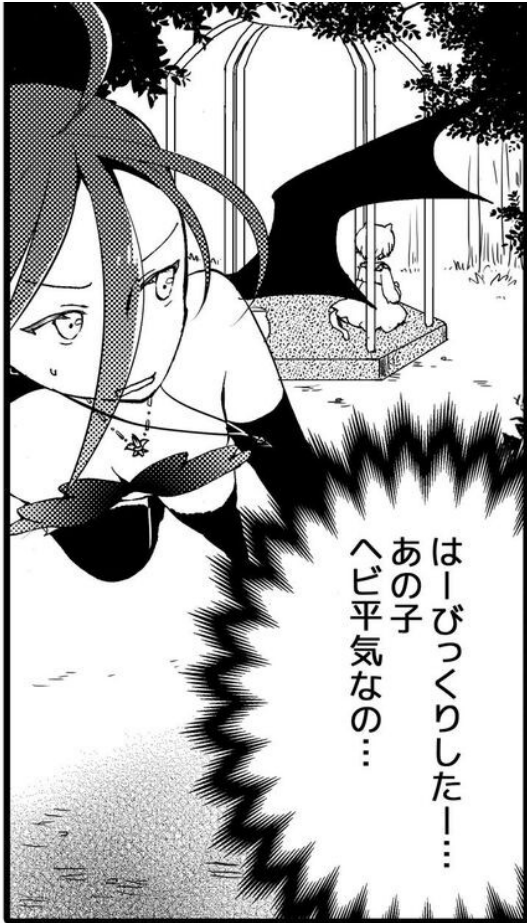














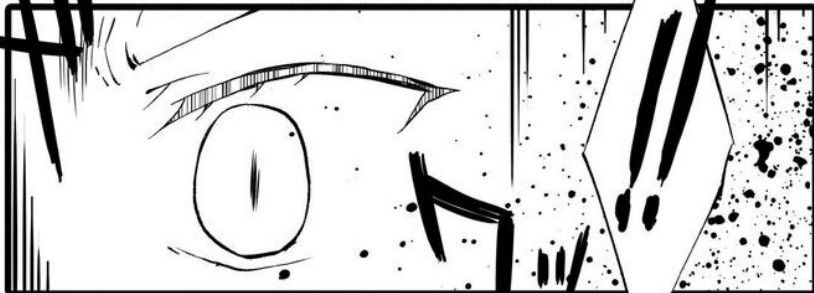
ナ...

ナ...

ナ...

ナ...

ア
ナ
ナ!!!



!!!



んっ...あ

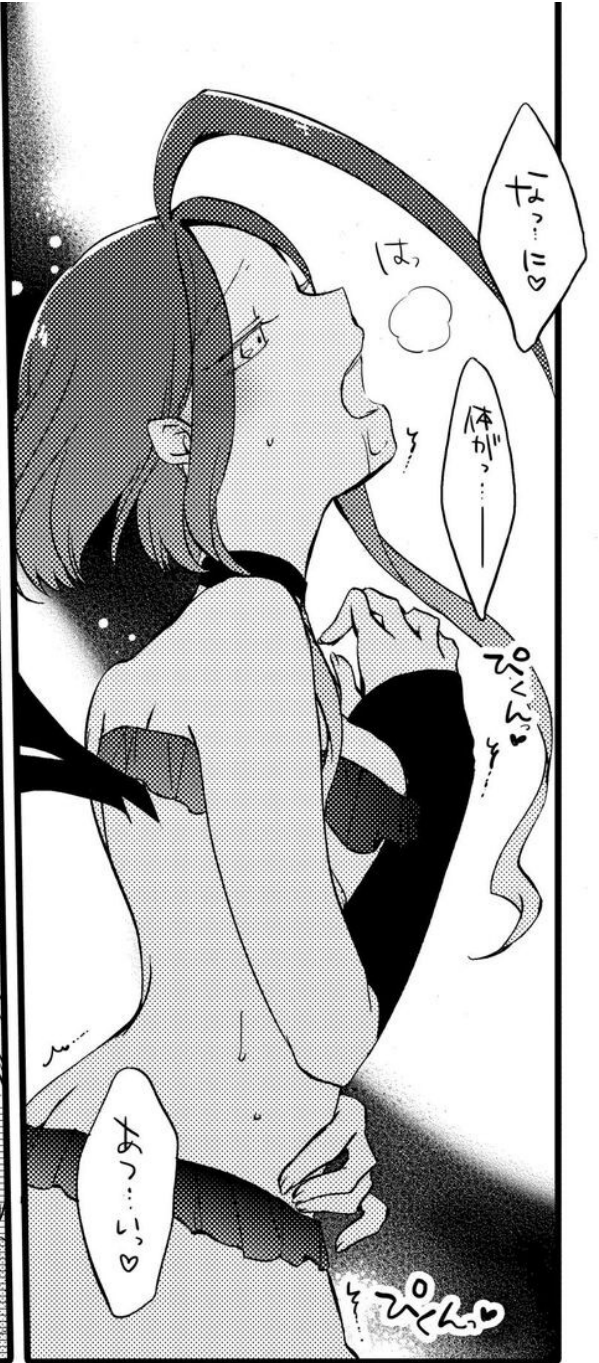


はあっ

美味しかったあ♡

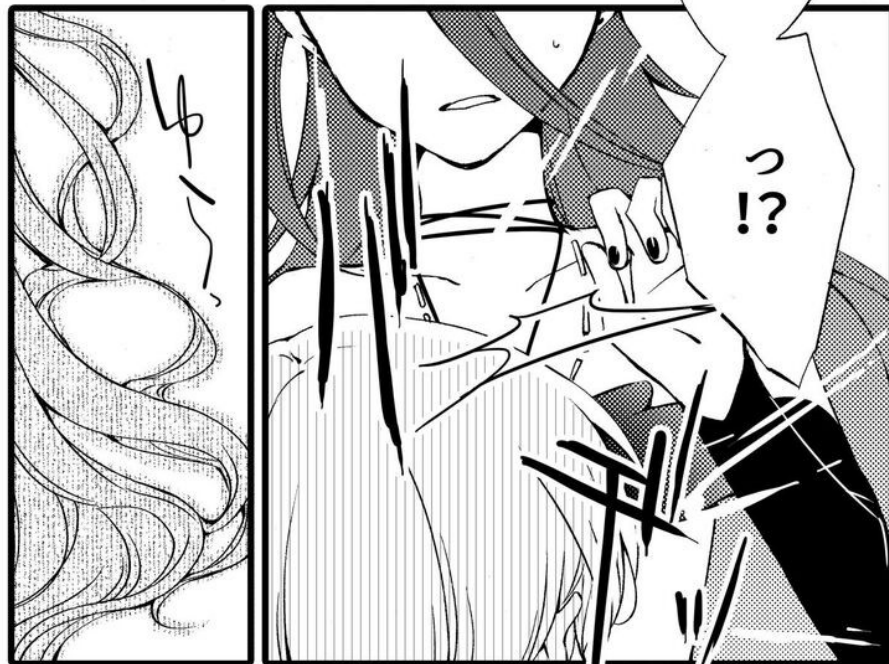
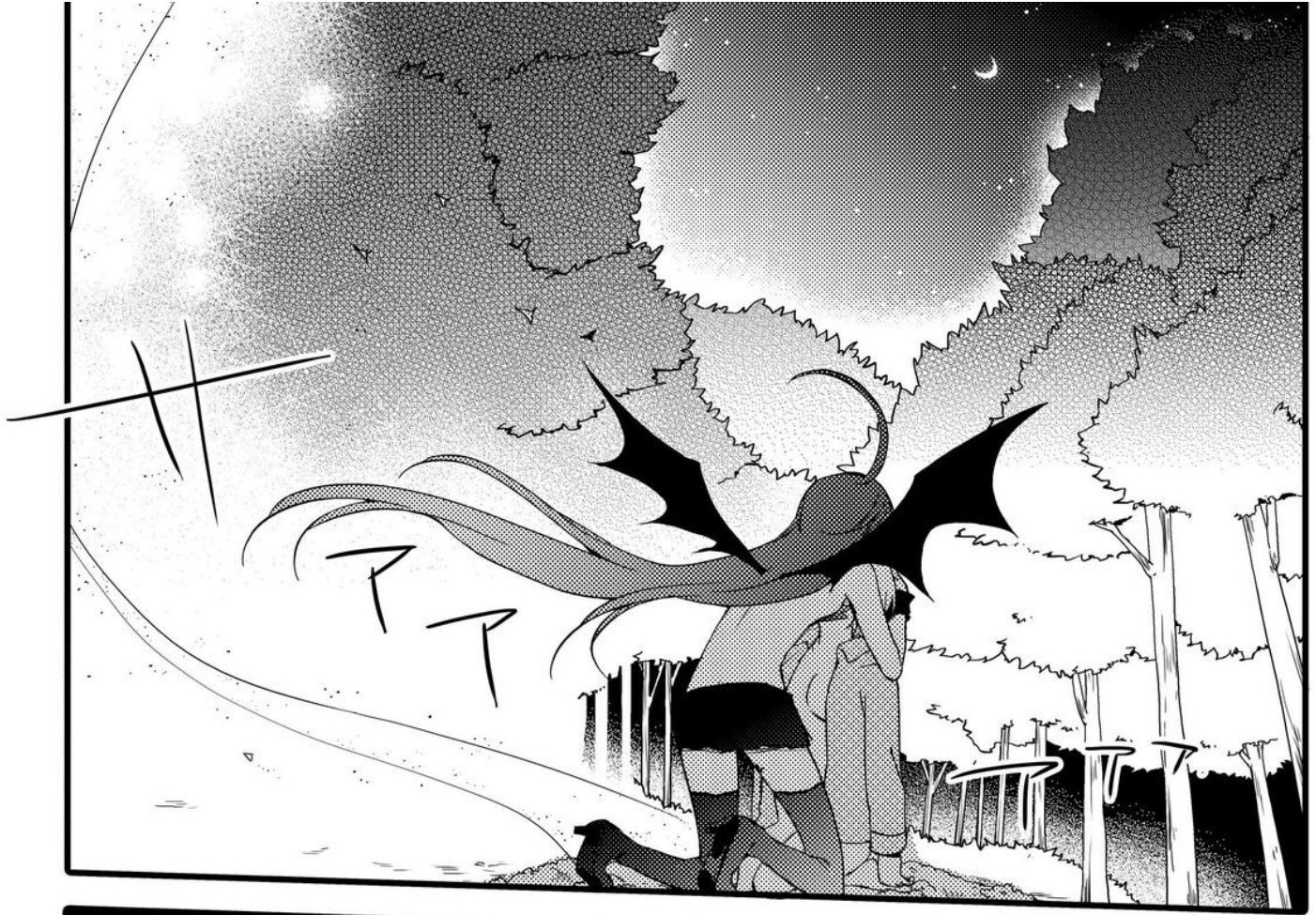
あなたの分なら
もう無いわよお?





あと…
少…し…ーっ!!







護衛もせずに

—こんな所で

何を
しているのかしら



なんで
足が……っ

うごかな……

ふんふん



!?

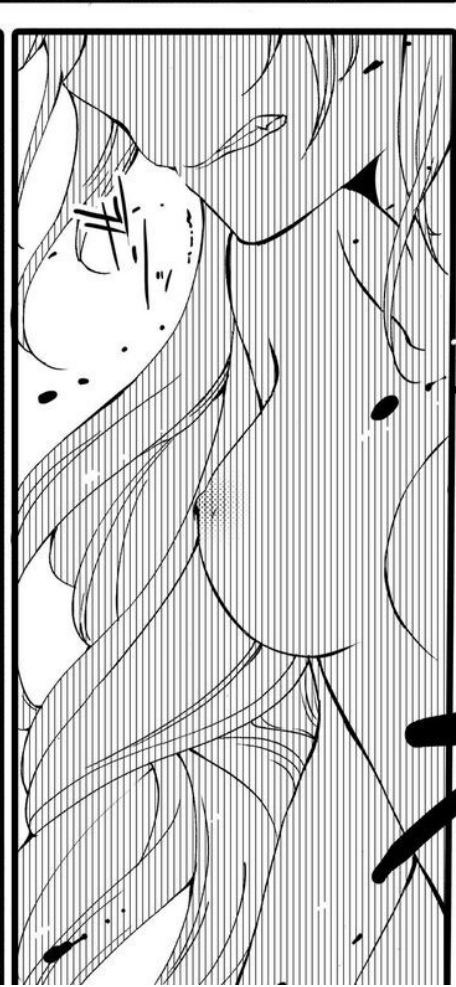
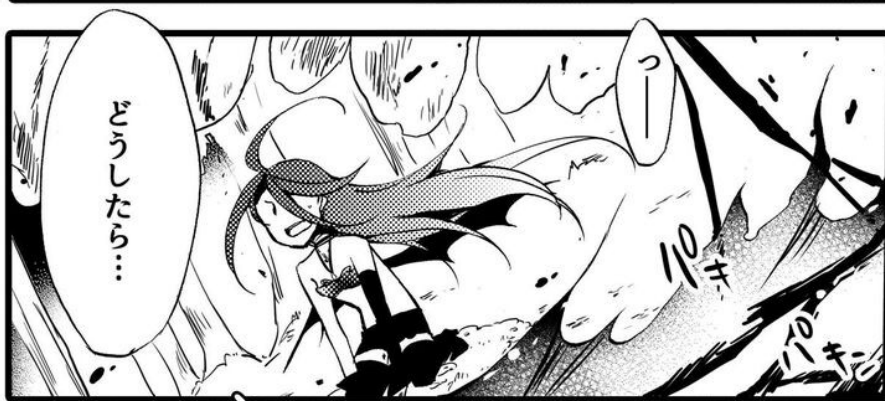


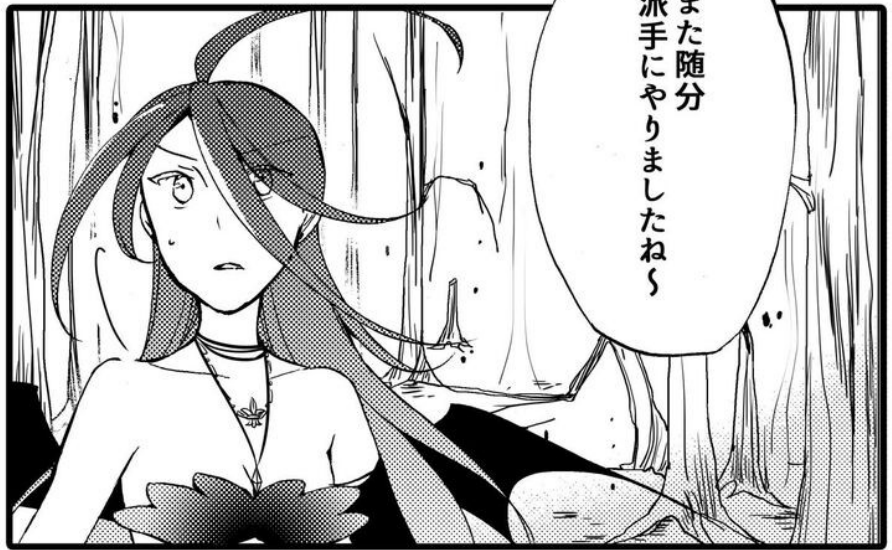
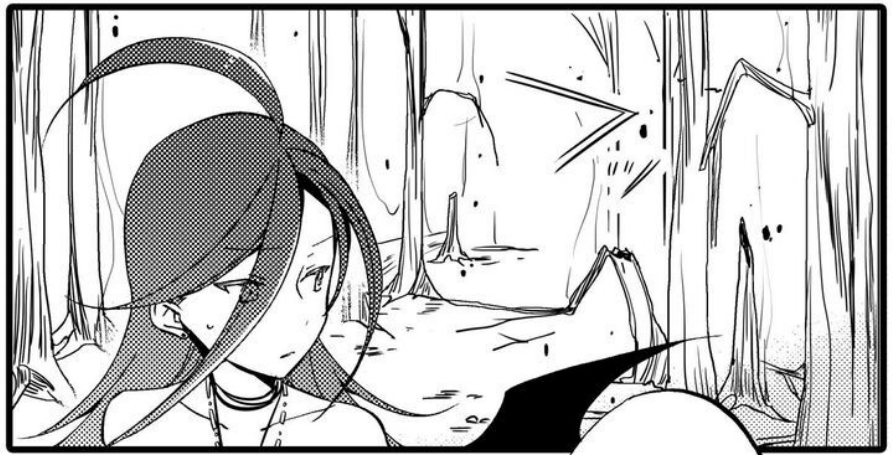
あんな卑俗な者に

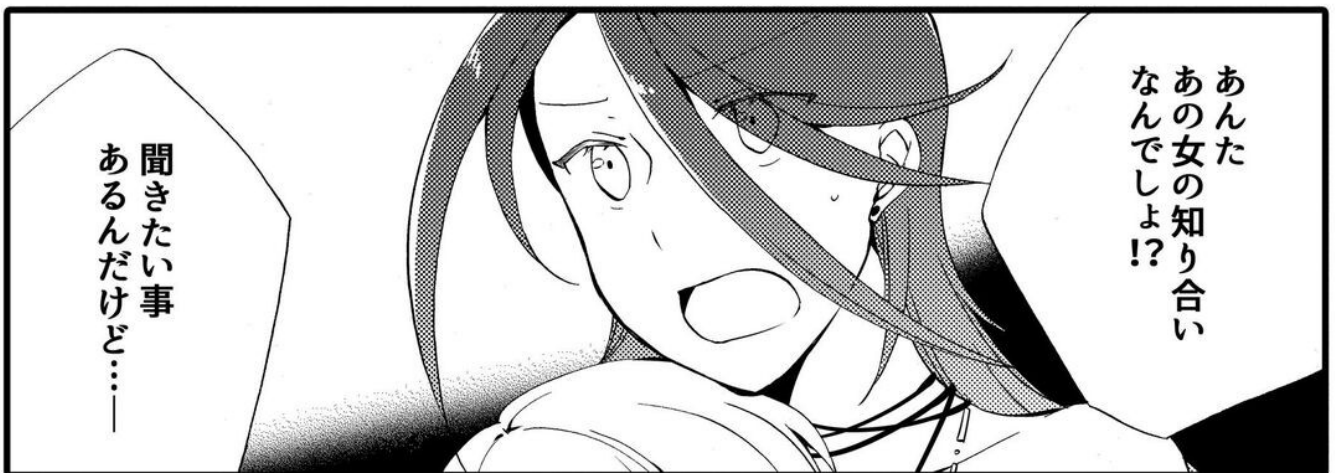


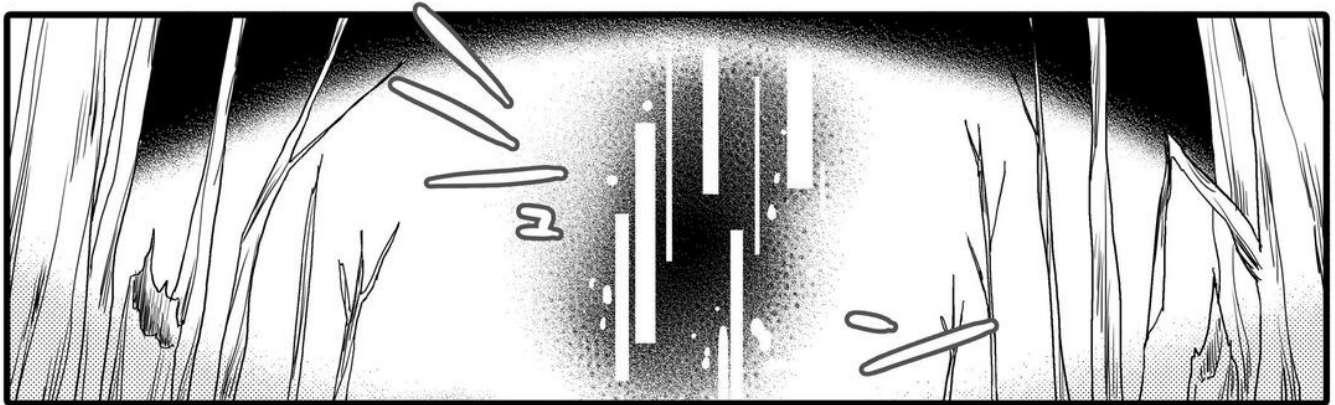
忌々しい……ッ

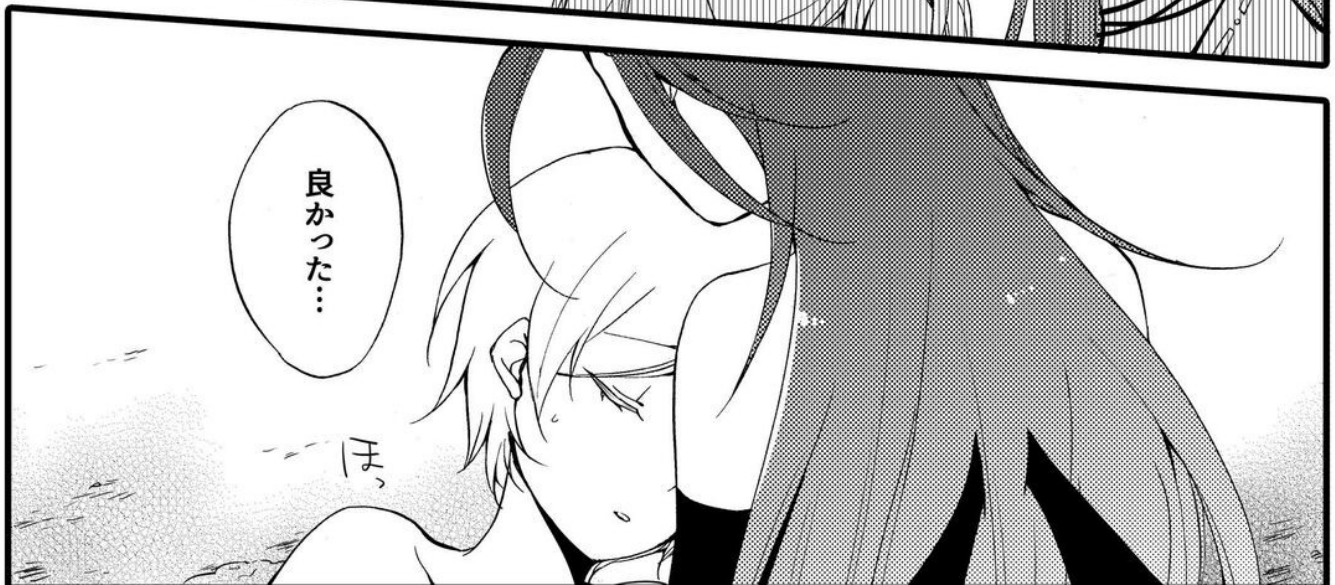
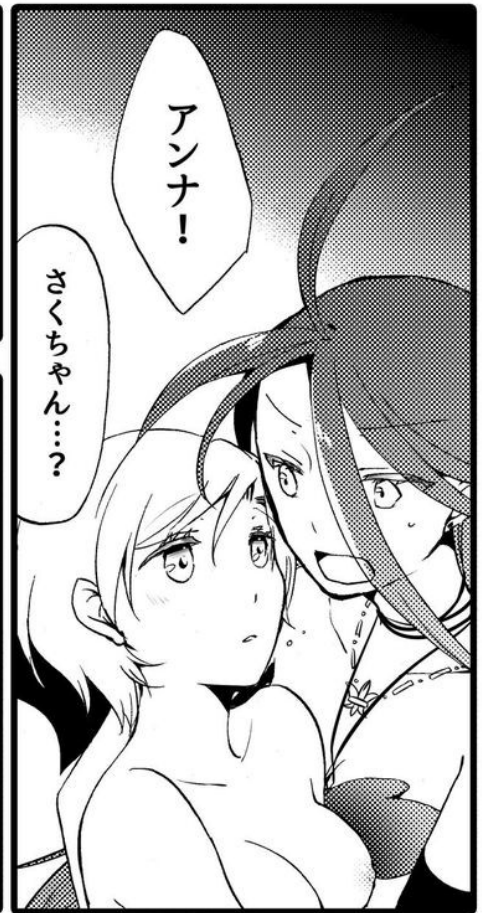
あんな卑俗な者に
忌々しい……ッ











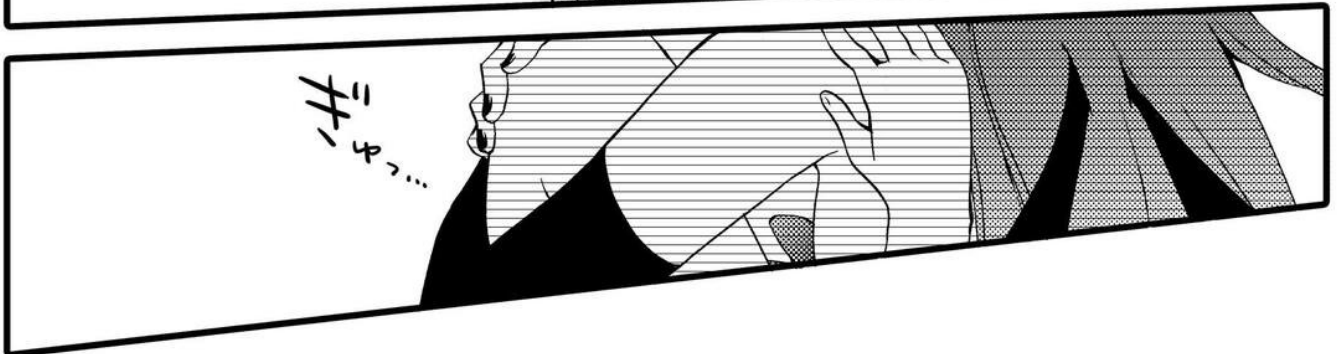


ごめん、

あたしが外へ
誘ったりしたから...



アッ

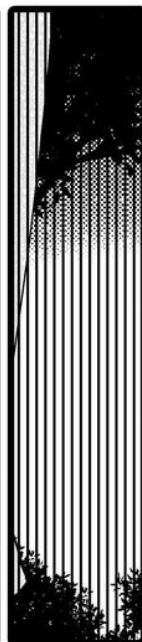
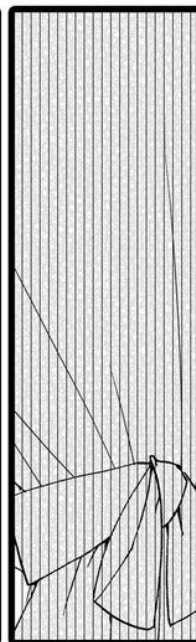
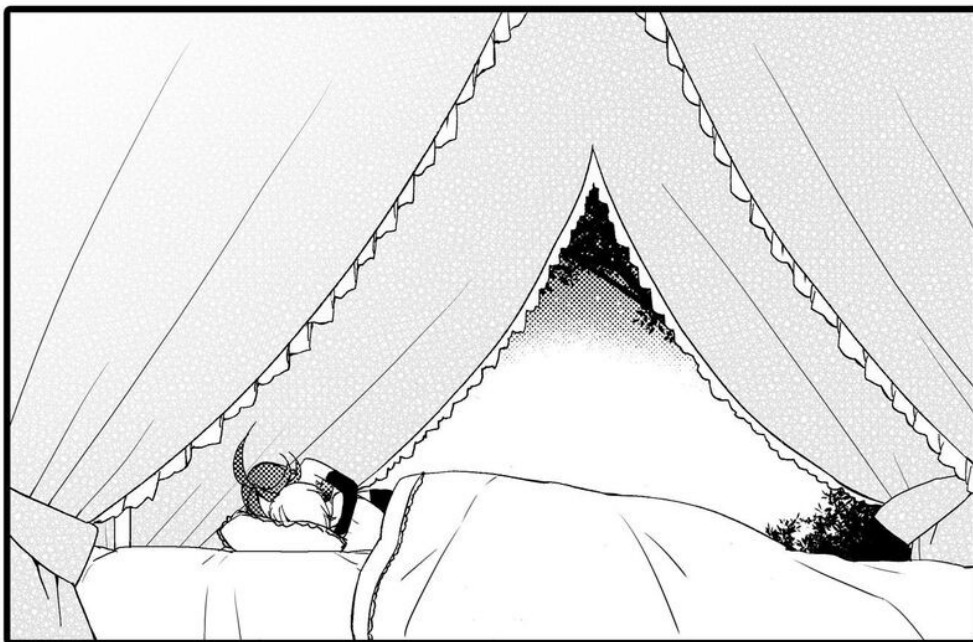


キリッ

……帰ろう

楽園の悪夢

楽園の悪夢





さくちゃんの
腕の中にいたら
いつの間にか
落ちていた...

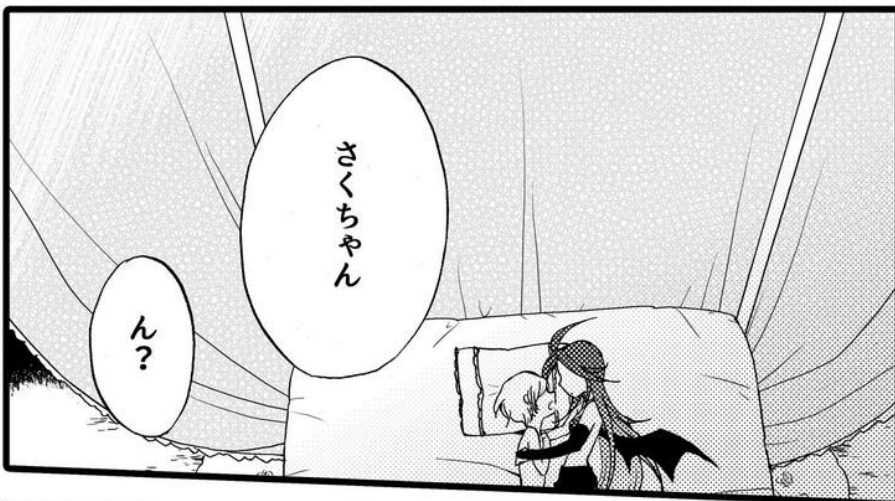


どうしたら
いいかなあ...

あ
そつえば



今はさくちゃんの方が
元気ないみたい...



さくちゃん

ん？



さつき力
使ったから
おなか空いたでしょ？

たべて
いいよ？



—あ…

ミカ



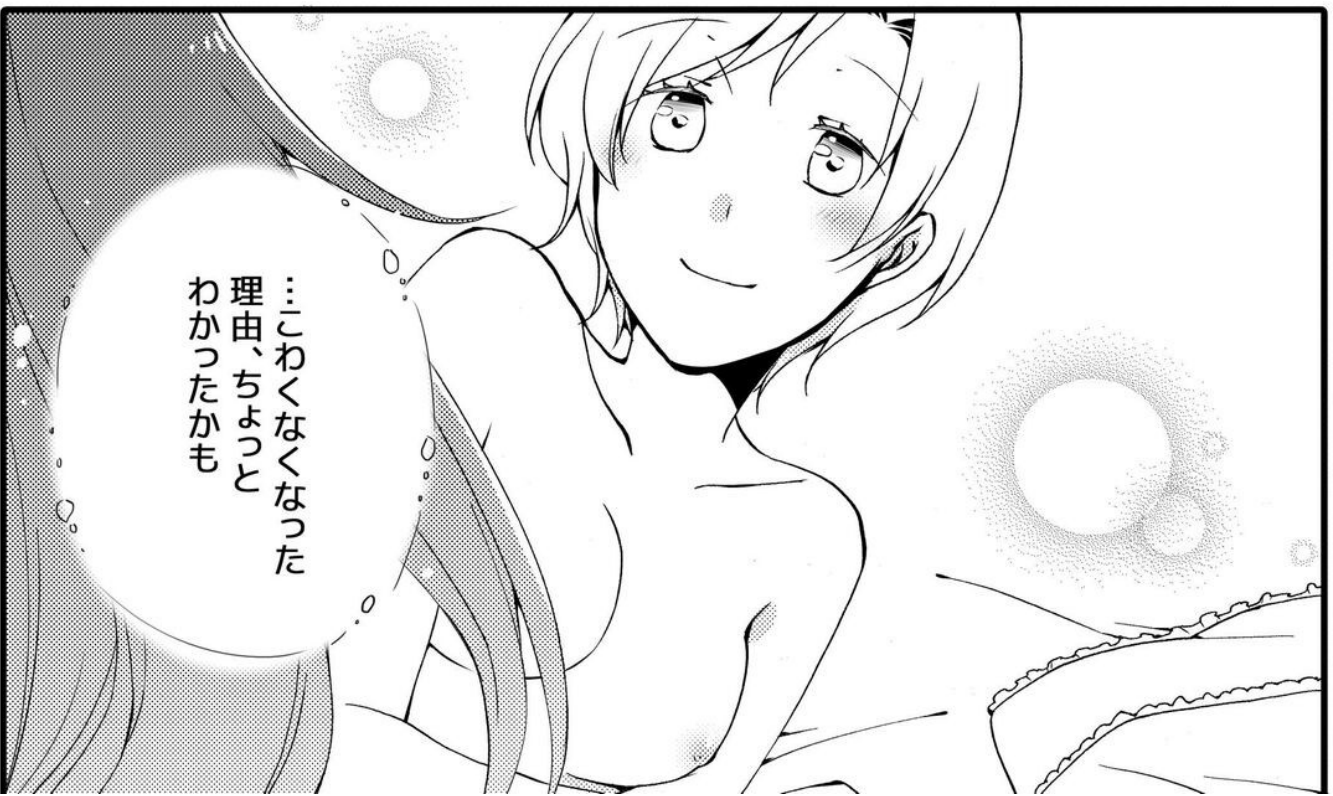
…アナ
あたしの事は
いいから、

もう休んだ方が
いいよ



ほら、こんな
時だしさ

少しくらいなら
食べなくても
平気だし



…こわくなくなった
理由、ちよつと
わかったかも



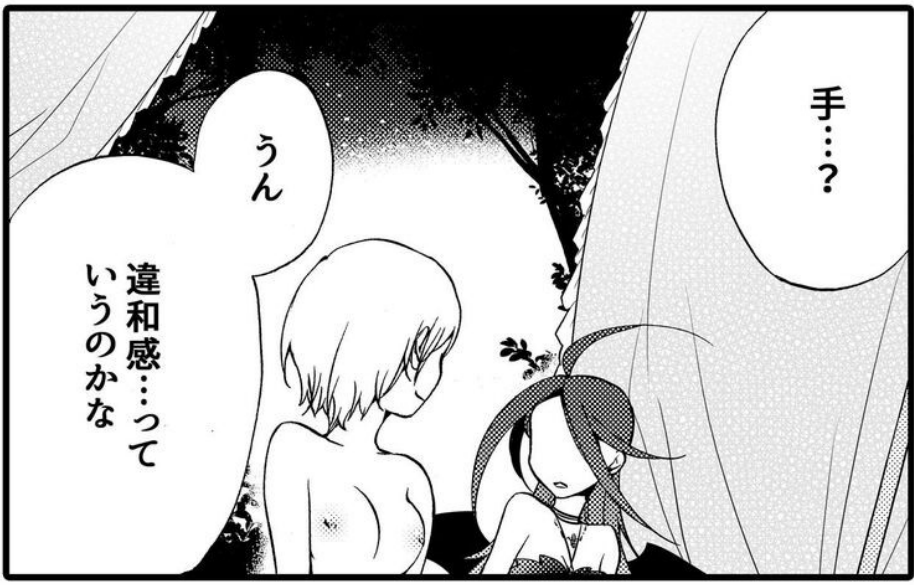
…あのねわたし

さっきの人に
さわられて

もちろん嫌だって
いうのもあったん
だけど

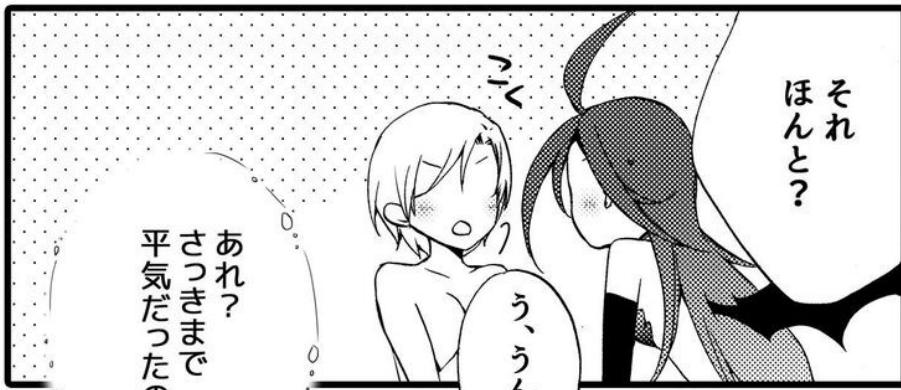


あ、違う
『この手じゃない』
って思ったの





わたし、
さくちゃんじゃ
ないと
いやみたい



それ
ほんと？

う、うん！

あれ？
さっきまで
平気だったのに



っ……！



言葉にしたら
急に恥ずかしく
なってきたかも……！

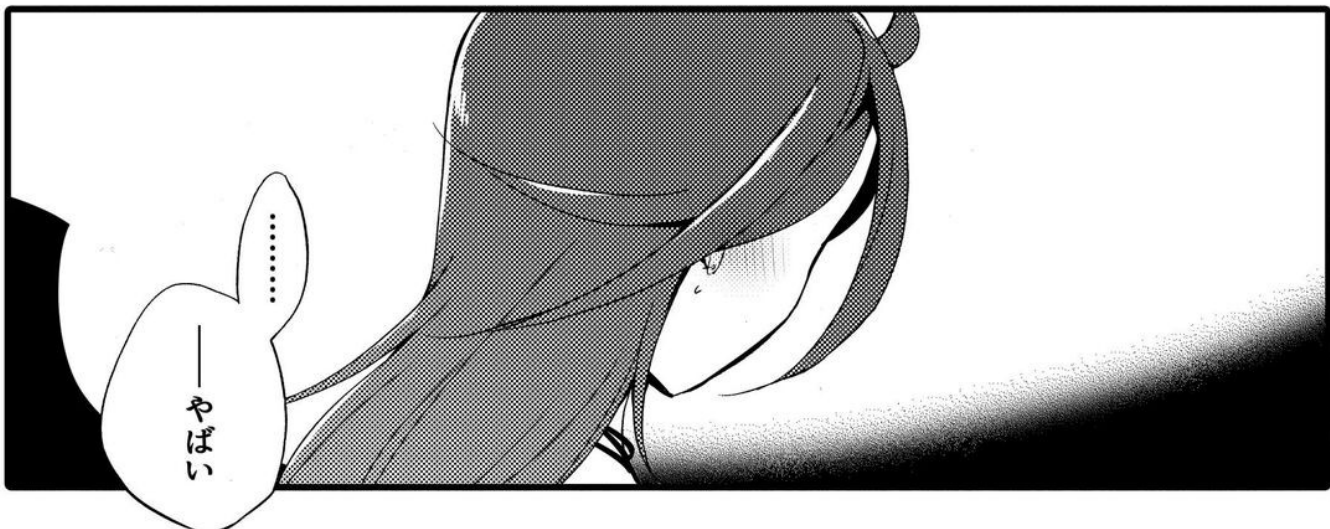
カチカチ

ド
ミ



さくちゃん
困ってるみたいだし

言わない方が
良かったかなあ……



……
——やばい



すっごく
嬉しい



うん

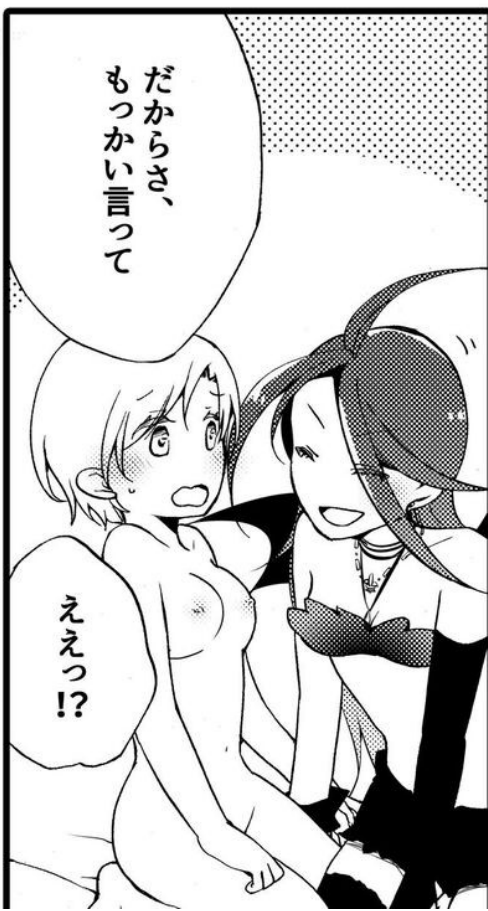
本当？



さくちゃん……！



だめ？



だからさ、
もっかい言って

ええっ!?





なんか
恥ずかしい〜

いつもと
恥ずかしいこと
してんじゃん



あーもう
アンナかわいすぎ!!

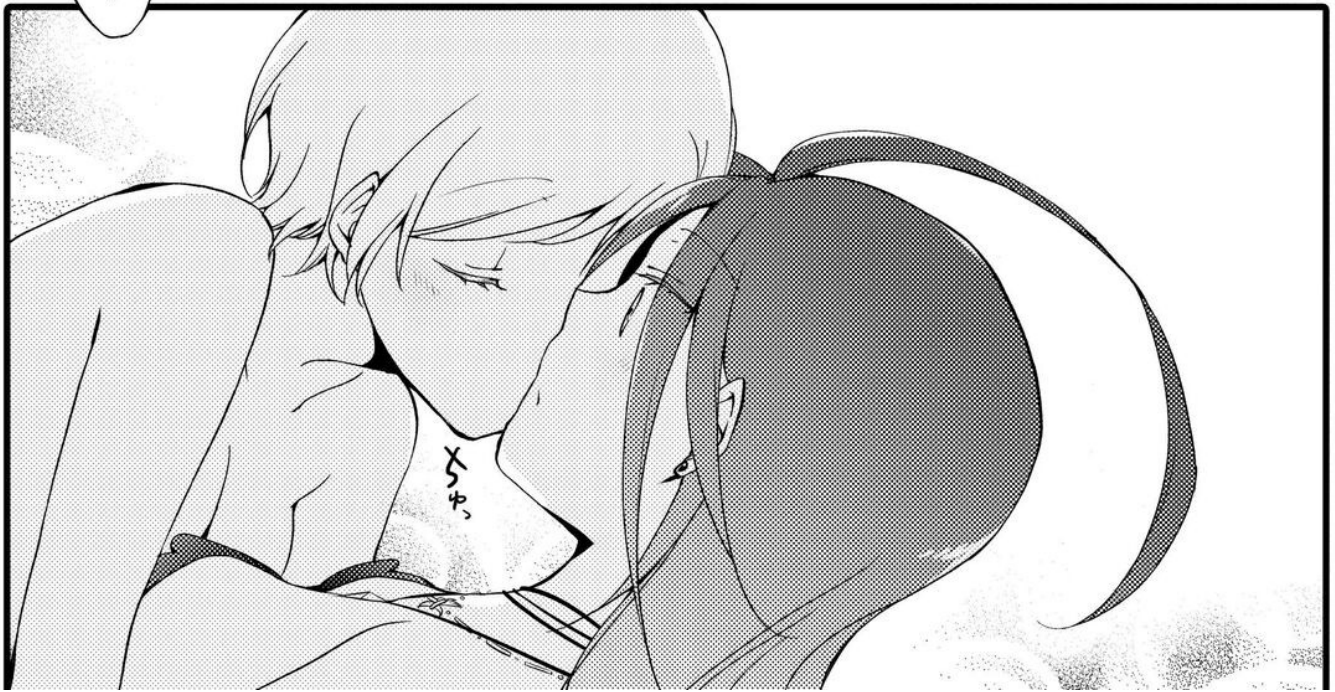
キキキ
ジュジュ



そうじゃ
ないもん

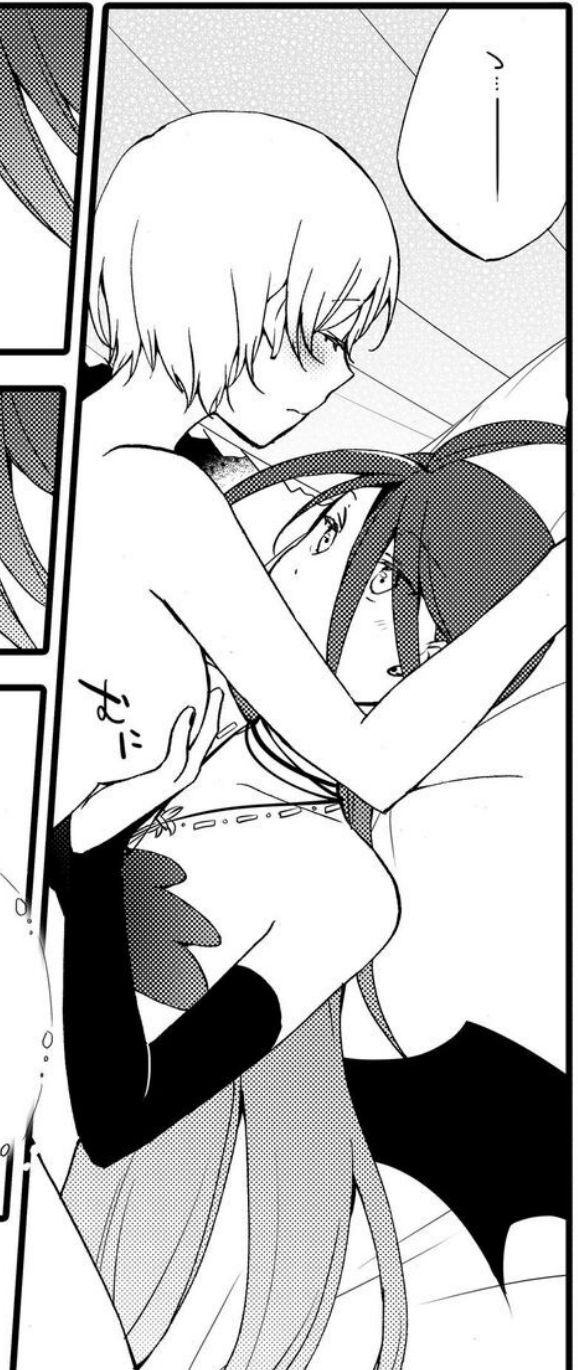
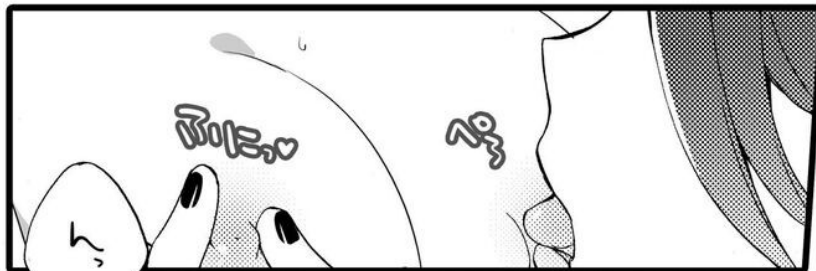
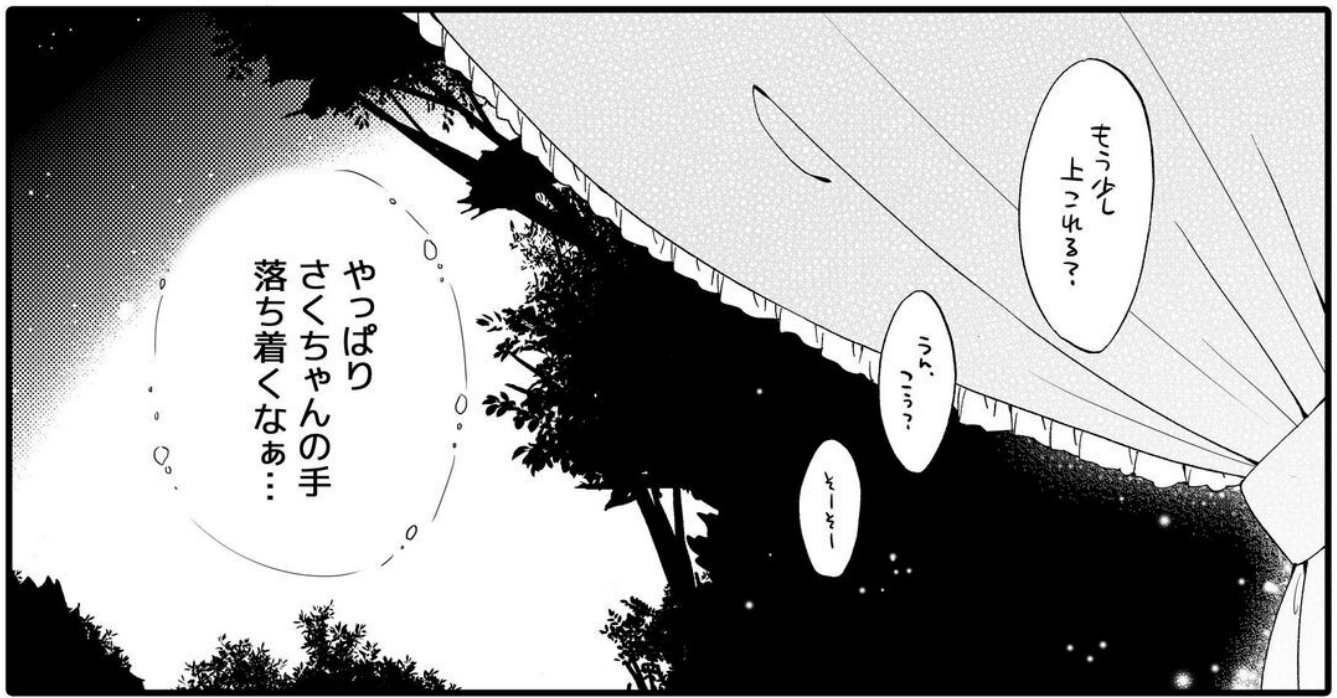
ふふーん
知ってるー

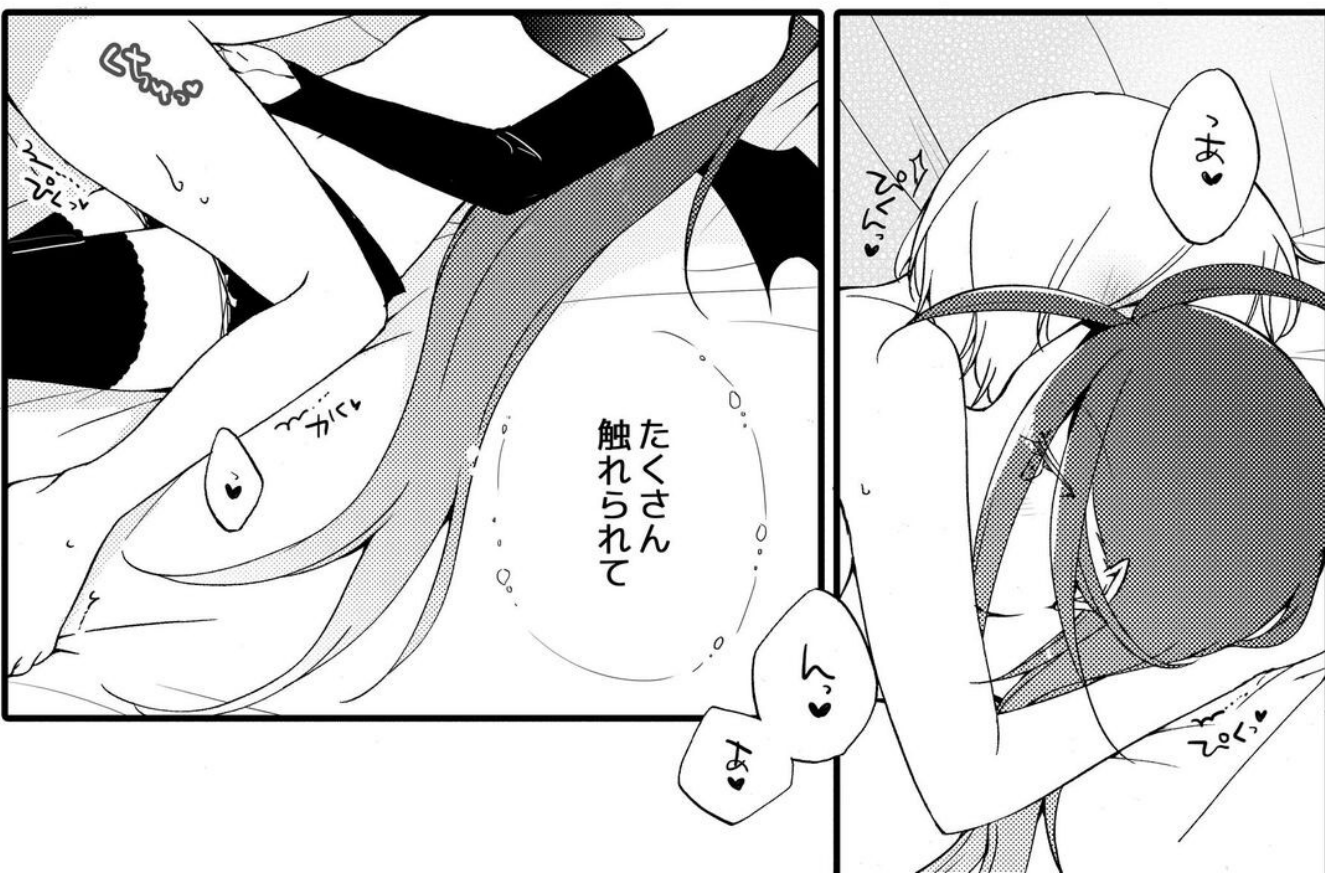
もう…



んん







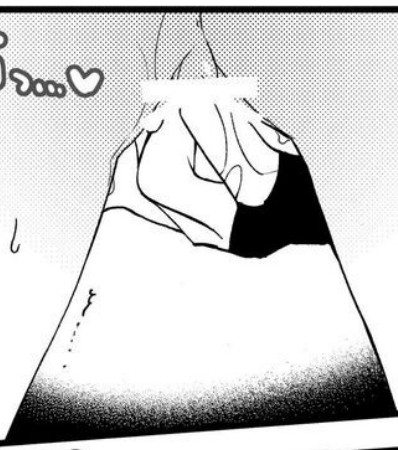
♡...♡

♡...♡

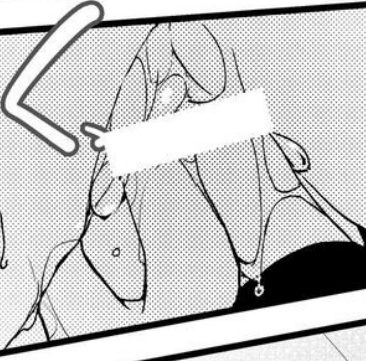
♡...♡

♡...♡

勝手に



♡...♡



反応して
しまうものだ
と
思ってた

♡...♡

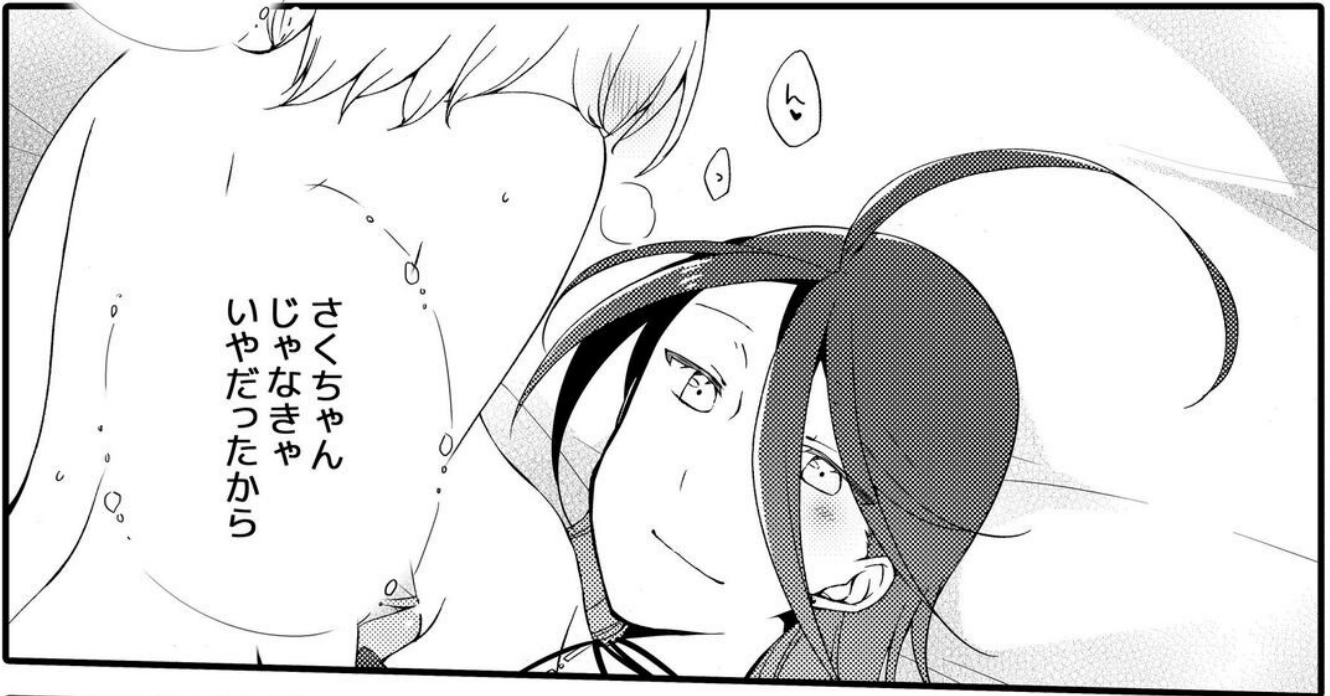
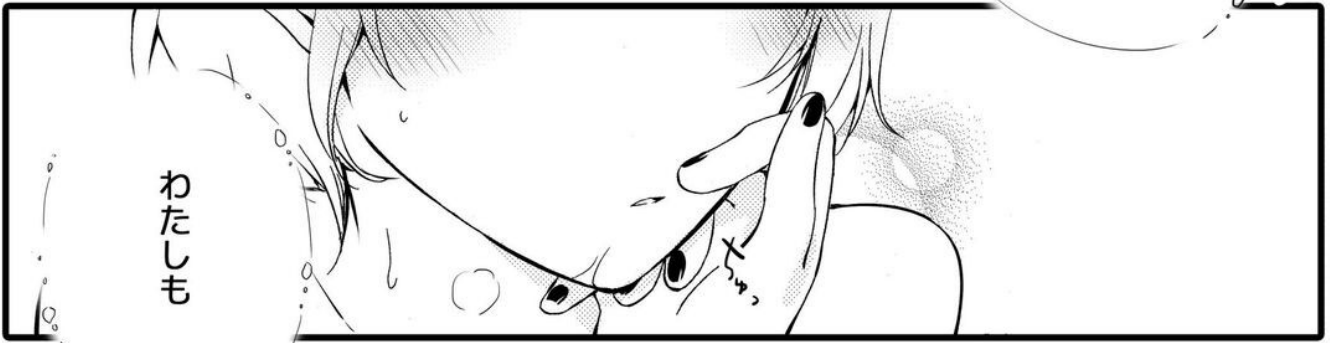
♡...♡

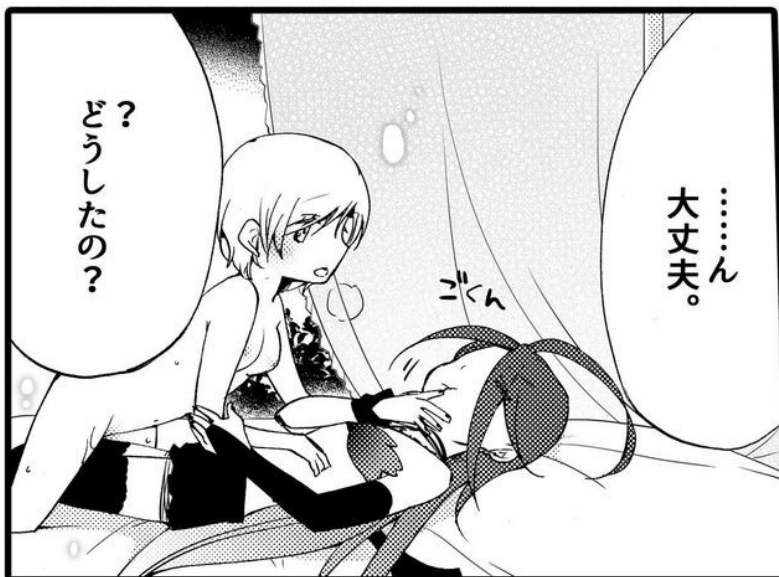
—でも違ってた

♡...♡

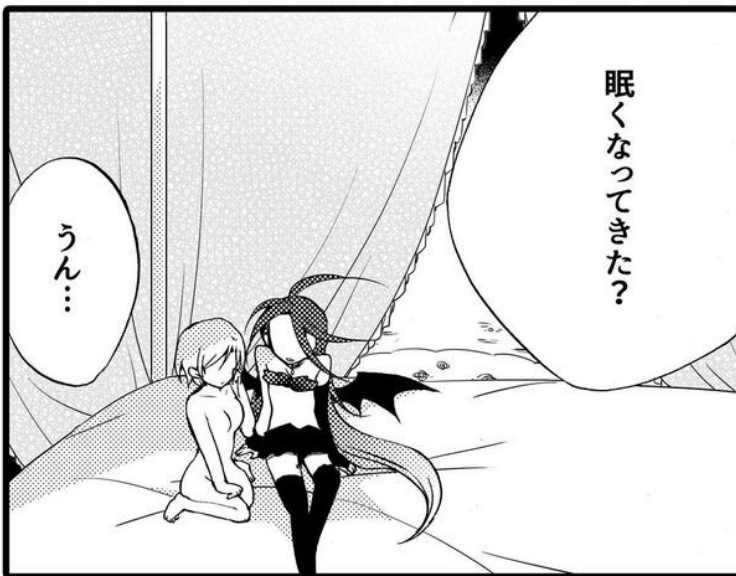
♡...♡

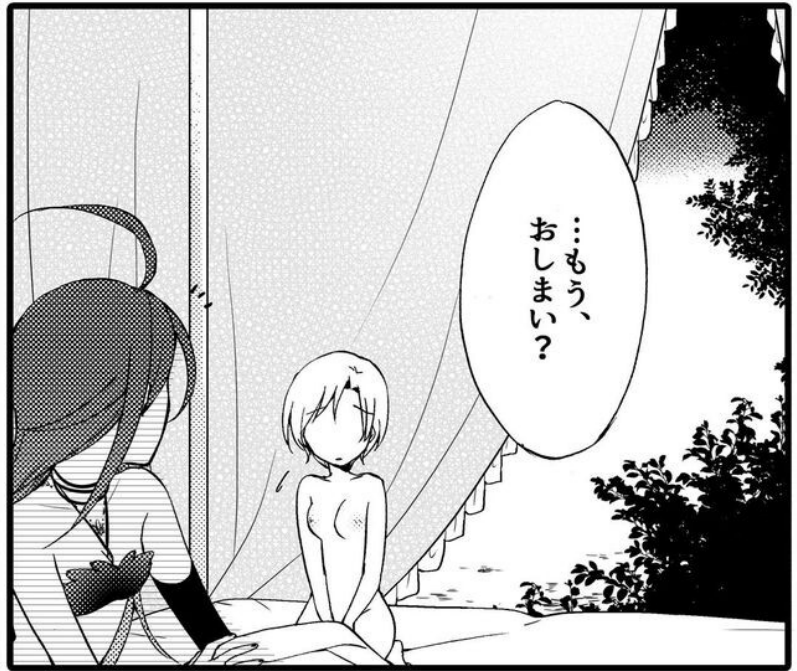






あつたかい気持ちに
なるもの
だったんだね







あの時、

周りは全部
焼けてたのに

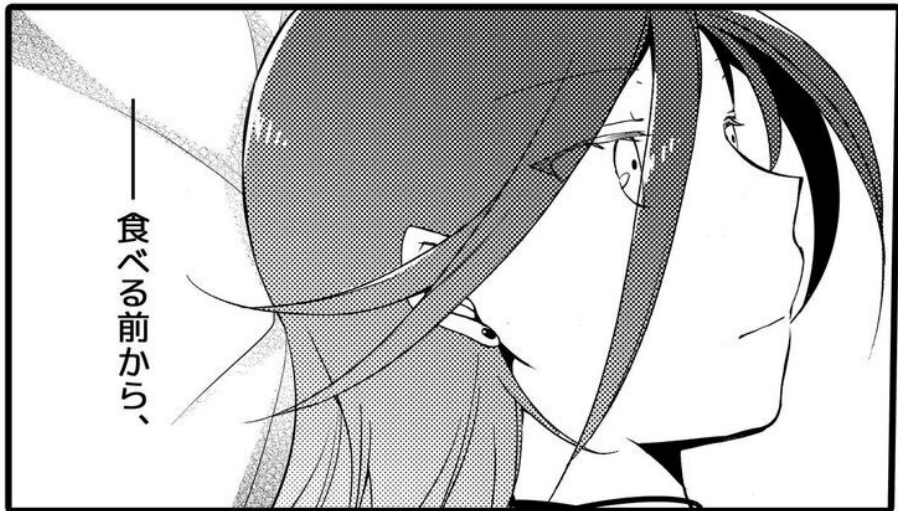
あたしだけ
焼かなかったって事は



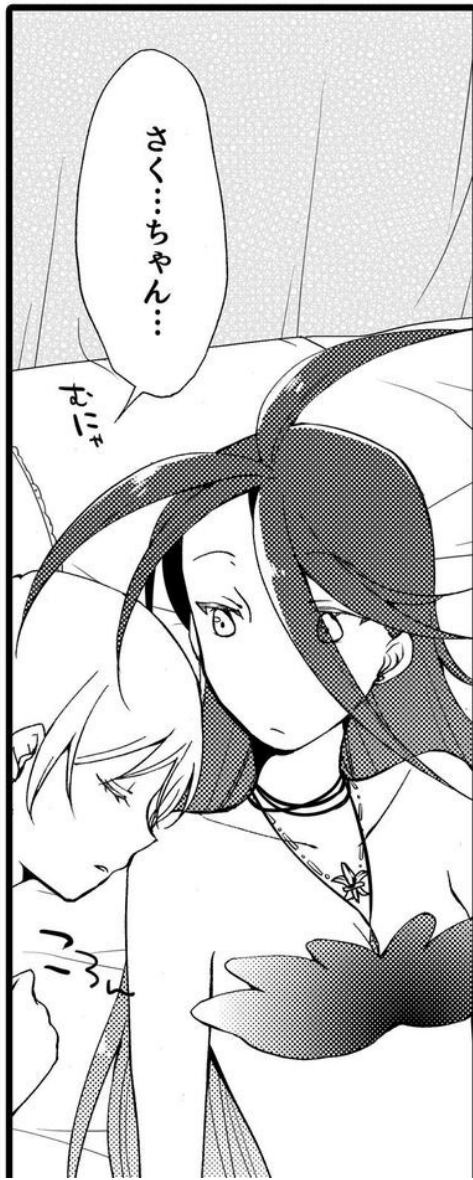
魂食べても
いつも通り
だったし



まだアンナと居て
いいってことなんじゃない？



——
食べる前から、

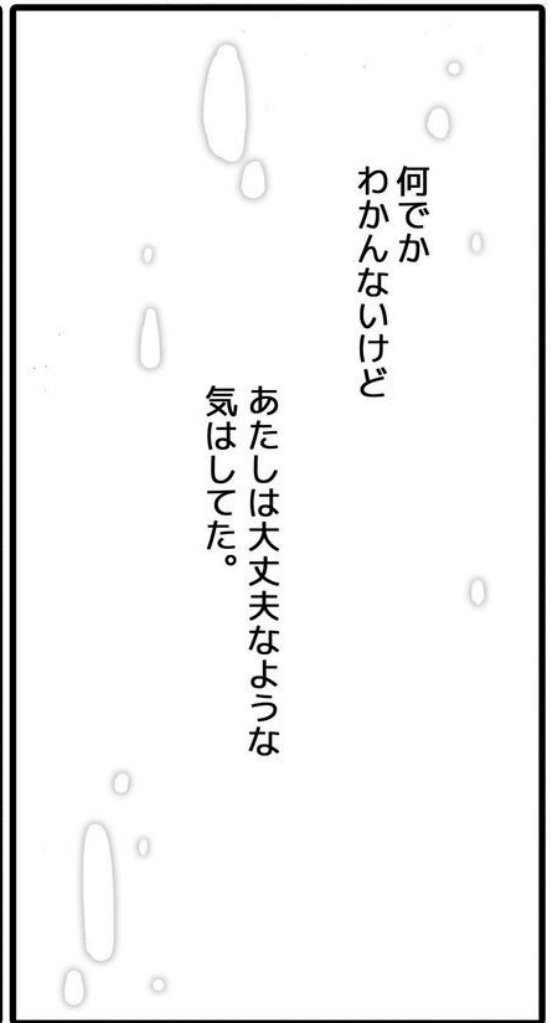


さく...ちゃん...

せーや




契約してないサキュバスは
...あなるってことで
合ってるのかな



何でか
わかんないけど

あたしは大丈夫なような
気はしてた。





名前、
呼んでたけど
あたしの夢でも
見てんのかな



——
なーんてね



あー
早く向こう
寝てくんないかなー



END

楽園の悪夢

楽園の悪夢



ア・レのまま
良いんですか？



今は
気分じゃないの



……一度結んだ
契約なもの。

簡単に
解いたりはないわし



ちよっとー

そうですかー

今日は



眠れると
思わないでくださいね
アンナ様



アンナ
起きるの
遅くない...?

すっすっ

しん

しん

...

はじめましてこんにちは、絵担当のせきはらです。

今回モブサキュバスさんと会ったことで
二人の関係性がまた少し変化して、
さくちゃんもアンナちゃんも今まで見せたことないような表情を
見せてくれたらいいなと思いながら描いてました。
これから二人はもっとラブラブになっていくんだろうなあうふふ。

それではまたどこかでお会い出来たら幸いです。

あとがき超久しぶりの気がします原作担当マンの広人です。
オレだよオレオレヨホホ!!

さて悪夢の楽園の続編です。
前作ではさくちゃんがアンナちゃんの事好きになって夢に留まったわけですが
その時のアンナちゃんはさくちゃんしかまわりていないので「すき」の部類には
入けど恋人ではありませんでした。
今回はモブサキュバスお姉さんの登場によって「さくちゃん」と「その他」の区別が
出来てさくちゃんはアンナちゃんにとって特別な存在になったわけです。
ウルトラハッピーエンドにしたつもりだよ!
モブサキュバスお姉さんには悪いことをしましたが、許せ…。

ページの都合上カットした色んな補足をば。
さくちゃんは魂と呼んでますが、正確にはアンナちゃんから出ているものは魂ではありません。
主従の関係になるための魔力の塊をサキュバス好みの味にしているだけです。
サキュバスは人間の魂を好むのでそれっぽい疑似餌にしてる的なかんじなのでした。
そもそもアンナちゃん人間ではないのでそこから魂は出ないし別の方法でないと死ぬことはありません。

沢山の種族が混じる夢の世界はこれからも描いていく予定なのでちょっとずつ世界観を
補完していけたらと思っています。

ひとまず悪夢の二人は両想いになったので物語としては一区切りです。
少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。

楽園の悪夢

2016.08.21 発行
にらたま/せきはら & 広人
印刷：株式会社 BRO'S 様


※18歳未満の方の閲覧（高校生不可）
ネットオークションやフリマアプリへの転売、無断転載・アップロード不可。

スペシャルサンクス * すやま様
いつも華麗でお早いトーン・写植作業本当にありがとうございます!!!

インフォメみたいなもの
「にらたま」は原案：広人/絵：せきはらが担当し、
二次創作、創作などで百合カブ中心に同人誌を描いています。
サイトにて情報更新しておりますので、よろしければ覗いてみてくださいませ。

<http://niratama.blog.jp/>
u_sekihara@hotmail.co.jp
pixiv ID=151361

twitterID
せきはら=u_sekihara
広人=tenko_mori



2016.08.21
niratama
Sekihara & Hiroto